

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化行政一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 001	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	文化行政推進事業	根拠法令・要綱等	明石市事務分掌条例、明石市事務分掌規則			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	文化行政の一般管理事務及び市職員
	意図（どういう状態にしたいのか）	文化行政の一般管理事務を円滑に行う。

事業内容	<平成22年度>	文化行政の一般管理事務を行う。
	<平成23年度>	文化行政の一般管理事務を行う。
	<平成24年度>	文化行政の一般管理事務を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	761	5,130	5,891	0	0	0	5,891	0.69	0.00	0.00
23決算	849	7,100	7,949	0	0	0	7,949	0.00	0.00	0.00
24当初予算	1,068	5,926	6,994	0	0	0	6,994	0.05	0.74	0.74

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	近接地旅費等		43		旅費
	需用費	事務用品、コピー用紙等	380		需用費	事務用品、コピー用紙等	437
	使用料及び賃借料	コピー使用料等	426		使用料及び賃借料	コピー使用料等	434
					負担金補助及び交付金	講座参加負担金	10
	合計		849		合計		1,068

整理番号	0130001000-001	事務事業名	文化行政一般事務事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	市が主体的に行う必要性は高い。			
	有効性	高い	一般管理事務を円滑に行っている。			
	効率性	高い	最低限の人員で効率的に事務を行っていると認められる。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持				
	手法の改善	維持				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
引き続き、効果的な事務推進に努める。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化芸術創生基本計画推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 002	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	事業	文化行政推進事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2 教育・文化分野	2-4 文化芸術の振興					
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組むなど、文化芸術活動が盛んになるための基盤をつくる。

事業内容	<平成22年度>	明石文化芸術創生会議を3回、明石文化芸術創生会議基本計画部会を3回開催。 11月に生活文化常任委員会へ基本計画(案)について中間報告。 9月、12月 文化団体との意見交換会を2回開催。 12月 パブリックコメントの実施 3月 明石文化芸術創生基本計画の策定 3月 生活文化常任委員会に基本計画策定について報告。
	<平成23年度>	明石文化芸術創生会議を3回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。 基本計画に定める中間支援組織のあり方の検討と設立準備。
	<平成24年度>	明石文化芸術創生会議を開催予定(2回開催予定)。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	2,371	4,410	6,781	0	0	0	6,781	0.76	0.00	0.00
23決算	1,369	5,270	6,639	0	0	0	6,639	0.00	0.00	0.00
24当初予算	3,026	6,384	9,410	0	0	0	9,410	0.00	0.76	0.00

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	文化芸術創生会議委員出席旅費	29		報償費	指導謝礼	1,300
需用費	消耗品費等	12		需用費	用紙代消耗品・印刷費等	530
役務費	文化芸術創生会議等音声反訳等	96		役務費	文化芸術創生会議等音声反訳等	200
委託料	文化芸術創生基本計画推進支援業務委託料	1,000		委託料	ワークショップ委託料	100
使用料及び賃借料	会議室使用料	14		使用料及び賃借料	会議室使用料	500
合計		1,369		合計		3,026

整理番号	0130001000-002	事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
明石文化芸術創生基本計画に基づく、実施計画を作成し、文化の息づくまちづくりを推進するために具体的な事業を展開している。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	平成23年3月に策定した明石文化芸術創生基本計画に基づき、年度ごとに実施計画を作成し、事業を展開している。また、明石文化芸術創生会議において基本計画の策定や進捗状況の評価検証を行うため、この事業の必要性は高い。			
	有効性	高い	事業の必要性は高く、基本計画を推進していくための有効性は高いと認められる。			
	効率性	高い	必要性、有効性ともに高く、基本計画推進について専門家と連携を図りつつ、効率的に事業を推進している。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	基本計画推進のための具体的施策を実施していく。			
	手法の改善	維持	引き続き経費削減に努める一方、実施計画に基づく年度ごとの重点的に取り組む施策については、予算化を図っていく。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
今後の事業展開方針						
今後、明石文化芸術創生基本計画、実施計画に基づき、施策を展開する。これまでの市の文化事業は鑑賞型のイベントがほとんどだったが、今後は基本計画や実施計画に沿って、これまで取り組みの薄かった部分にも力を入れて推進していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	芸術祭等開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 003	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の文化芸術活動を支援することにより、市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組む機会を提供し、もって本市の文化芸術活動の一層の振興を図る。また、次世代への文化の継承や文化に触れる機会を提供する。

事業内容	<平成22年度>	市芸術祭 ・明石ステージアート2011、邦舞・邦楽のつどい、いけばな展、音楽のつどい、茶会、吹奏楽祭、美術展を開催。 明石現代作家展・・・市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。
	<平成23年度>	市芸術祭 ・明石ステージアート2011、邦舞・邦楽のつどい、いけばな展（こどもいけばな体験も合わせて開催）、音楽のつどい 茶会（親子茶道体験も合わせて開催）、吹奏楽の夕べ、美術展を開催。 明石現代作家展・・・市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。
	<平成24年度>	市芸術祭 ・明石ステージアート2012・・・10月14日（日）市民会館大ホールで開催予定。 ・民謡・民舞と邦楽のつどい・11月18日（日）生涯学習センター子午線ホールで開催予定。 ・いけばな展・・・11月9日（金）～11月11日（日）生涯学習センターで開催予定。 こどもいけばな体験も合わせて開催する予定。 ・音楽のつどい・・・11月3日（土・祝）市民会館大ホールで開催予定。 ・茶会・・・11月4日（日）生涯学習センターで開催予定。親子茶道体験も合わせて開催する予定。 ・吹奏楽の夕べ・・・8月26日（日）市民会館大ホールで開催予定。 ・美術展・・・11月28日（水）～12月2日（日）、5日（水）～9日（日）文化博物館で開催予定。 ジュニアの部を創設。 明石現代作家展・・・市美術展審査員・実行委員による作品展。 3月13日（水）～17日（日）文化博物館で開催予定。

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				24年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.71	アルバイト	0.00
22決算	6,600	7,200	13,800	0	0	213	13,587	再任用	0.00	その他	0.00
23決算	7,263	6,995	14,258	0	0	0	14,258	任期付	0.50	合計	1.21
24当初予算	7,263	7,264	14,527	0	0	200	14,327				

区分（節）	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
合計		7,263		合計		7,263

整理番号	0130001000-003	事務事業名	芸術祭等開催事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
芸術祭をより充実させることによって市民の芸術にふれる機会をふやし、市民の生活に潤いをあたえている。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「各種市民参加型事業の促進」を重点施策として掲げている。・芸術祭を開催することにより、各文化団体の日頃の活動の発表の場を提供することができるとともに参加や鑑賞することで文化意識の向上を図ることができる。また、市民に質の高い文化に触れる機会を提供することができる。			
	有効性	やや高い	・各部門の文化活動の成果の発表の場を芸術祭という事業の冠の中で開催することにより、市民の芸術についての関心を呼び興し、芸術に触れたり参加する機会を広げている。			
	効率性	やや高い	・明石市文化団体連合会に委託しており、文化団体の相互の交流をはかるとともに、事業を精査しながら限られた予算の中で効果をあげ運営している。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性、有効性ともやや高いと評価する。今年度「邦舞・邦楽のつどい」は市民会館大ホールから生涯学習センター子午線ホールで開催するなど入場者に合わせて会場の変更を行い、予算等を精査しながら実施する。			
	手法の改善	軽微な改善	・平成23年度から「いけばな展」については「こども体験教室」、「茶会」については「親子茶道体験」を実施している。・「美術展」については、平成24年度に「ジュニアの部」を創設し、ポスター原画の募集をはじめ絵画・書道・写真の三つの部門で作品応募をつのり、美術展参加者の増加をはかるとともに子供たちの文化芸術への参加を促進する。			
事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針						
こども体験教室やこどもが参加発表できる場を提供し、今後もさらなる文化芸術への参加を促進していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		文芸祭開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 004		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度		
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
	2-4 文化芸術の振興							
個別計画	文化芸術創生基本計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民					
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の文芸に対する関心と認識を深め、創作意欲の向上や創作活動へのきっかけづくりを図るとともに、文芸作品の発表の機会を提供する。					

事業内容	<平成22年度>	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集を作成し広く市民に公表。応募作品数 5,346点。					
	<平成23年度>	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。また、優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。応募作品数の多かった俳句、川柳、短歌のジュニアの部(中学生以下)については、佳作を選出し、ジュニア佳作集を作成し、各生徒、市内小中学校に配布。応募作品数 7,269点。					
	<平成24年度>	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。応募作品数の多い俳句、川柳、短歌のジュニアの部(中学生以下)については、昨年度選出した佳作に変わり、今年度は「ジュニア奨励賞」を設けて「ことのはものがたり」に入れ込み作品集の充実をはかる。応募作品数 6,267点					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	1,707	3,600	5,307	0	0	462	4,845	0.40	0.00	0.00
23決算	1,920	3,825	5,745	0	0	0	5,745	0.00	0.00	0.00
24当初予算	1,940	3,490	5,430	0	0	420	5,010	0.05	0.05	0.45

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
				委託料	文芸祭開催委託	1,920
合計		1,920		合計		1,940

整理番号	0130001000-004	事務事業名	文芸祭開催事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	応募人数	作品の応募人数(一般・ジュニア含む)	人	3,054	4,271	3,601
	指標で表せない成果					
	文芸祭の実施により、市民及び子供たちの文芸に対する関心と認識を深め文芸作品の市民の文化意識の一層の向上をはかる。一般については日頃の発表の場となる。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生基本計画において、「各種市民参加型事業の促進」を重点施策として掲げている。文化の息づく街づくりの一環として文芸に対する関心を深め創作づくりのきっかけづくりとなっている。			
	有効性	やや高い	・七つの部門の創作発表の場とすることで、文芸の関心を広め、新たな部門の創作活動のきっかけづくりとなっている。			
	効率性	やや高い	・文芸祭実行委員会に委託しており、事業費を精査しながら予算範囲の中で効果を上げ運営している。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	・必要性、有効性はやや高いと評価し、おおむね現状どおりの規模で継続していく。			
	手法の改善	軽微な改善	・一部データでの応募可能にするなど応募方法の幅を広げ、応募要項の改善を図り、作品応募の増加をはかる。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
今後の事業展開方針						
ジュニア部門については、これまでの賞に加え、新たに[ジュニア奨励賞]を設け、できるだけたくさんの作品に賞を授与し、子供たちの文芸への励みになるように検討していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	街角イベント推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 005	
			分割/統合				
関連予算科目目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 15 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	音楽の活動をするグループや個人に発表の場を提供するとともに、市民が身近な場所で音楽に触れ親しむ機会を提供する。また、賑わいのあるまちづくりにも資する。

事業内容	<p><平成22年度> 明石コミュニティー創造協会への委託により事業を実施。 あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやマイカル明石2番街海の広場等で開催 たこたこジャズフェスティバル2010……10月3日に明石公園の組立て式能舞台や魚の棚商店街内などで開催。 まちかどミュージャンススペシャルライブ……3月にあかしまちかどミュージャン出演の演奏会を開催し、メイン会場であかしまちかどミュージャン出演のイベントを開催。</p>
	<p><平成23年度> 明石コミュニティー創造協会への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」や「たこたこジャズフェスティバル」などの街角イベントを開催。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。（登録者85組 派遣実績23回） あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやイオン明石2番街海の広場等で開催。 たこたこジャズフェスティバル2011……9月23日に子午線ホールなどで開催。 明石音楽祭……9月18日にグリーンヒルホテル明石であかしまちかどミュージャン出演の演奏会を開催。</p>
	<p><平成24年度> 明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」や「たこたこジャズフェスティバル」などの街角イベントを開催。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。 あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやイオン明石2番街海の広場等で開催。 たこたこジャズフェスティバル2012開催予定。 明石音楽祭開催予定。</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
22決算	1,924	90	2,014	0	0	0	2,014	0.04	0.00	0.00	0.00
23決算	2,000	340	2,340	0	0	0	2,340	0.00	0.00	0.00	0.00
24当初予算	2,000	336	2,336	0	0	0	2,336	0.00	0.00	0.00	0.04

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
合計		2,000		合計		2,000

整理番号	0130001000-005	事務事業名	街角イベント推進事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
ホール施設以外のまちかど等で市民が気軽に音楽に触れ親しむ機会を提供できている。また、芸術活動を行おうとする市民に発表の場を提供している。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	明石文化芸術創生基本計画において、「身近な施設や市以外の施設を利用して、市民誰もが文化芸術に出会い関わることのできる機会の創出」を掲げている。また、市民生活に密着した場所でのコンサートは賑わいのあるまちづくりにも資する。			
	有効性	やや高い	市民生活に密着した場所で、市民が気軽に楽しめるコンサートを鑑賞する機会や芸術活動の発表の場を提供している。			
	効率性	やや高い	出演者がボランティアで協力していただいている部分が多く、安価で実施できている。たこたこジャズフェスティバルなど大きなイベントでは、実行委員会を立ち上げ市民との協働による運営を行っている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	有効性、効率性ともに高く、概ね現状規模で行っていく必要がある。			
	手法の改善	軽微な改善	基本計画に掲げる「さらなる発表の場及び機会の充実」を図るため、平成23年度に発表の場となり得る市所有スペースの調査・検討を行った。今後は、調査結果に基づき施設管理者やアーティストとの調整を進めつつ、市所有以外のスペースについても調査・検討を行っていく。			
事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針						
基本計画に掲げる「さらなる発表の場及び機会の充実」を図るため、平成23年度に発表の場となり得る市所有スペースの調査・検討を行った。今後は、調査結果に基づき施設管理者やアーティストとの調整を進めつつ、市所有以外のスペースについても調査・検討を行っていく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 006	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進し、市民に質の高い音楽の観賞機会を提供する。

事業内容	<平成22年度>	世界に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演と、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 1月15日(土) 市民会館大ホールで公演。同日に谷八木小学校で特別授業。
	<平成24年度>	世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演と、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 4月18日(水) 市民会館大ホールで公演。同日に花園小学校で特別授業を実施。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	5,345	3,240	8,585	0	0	4,789	3,796	0.40	0.00	0.00
23決算	188	0	188	0	0	0	188	0.00	0.00	0.00
24当初予算	6,115	3,360	9,475	0	0	3,290	6,185	0.00	0.00	0.40

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		需用費	公演プログラム印刷費		54		報償費
	委託料	チラシ・ポスター作成業務委託	134		需用費	出演者ケーティング	50
					役務費	舞台人件費、チケット販売手数料、傷害保険料	605
					委託料	出演料、警備委託	5,000
					使用料及び賃借料	会場使用料、附属設備使用料、空調使用料	450
	合計		188		合計		6,115

整理番号	0130001000-006	事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
平成14年度から世界的な指揮者・佐渡裕氏による質の高い音楽を鑑賞する機会を市民に提供し続けている。佐渡氏は音楽により、明石を元気づけようとしたのがきっかけで、明石に特別な思いを持って下さっており、明石市と佐渡氏とのつながりはしっかりと形成されてきている。また、小学校で特別授業を行うアウトリーチ活動も、子どもたちや教師に好評を得ており、子どもたちが音楽に親しみ、楽しむきっかけづくりにもなっている。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	市民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供し、「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進していくために、世界的な指揮者である佐渡裕氏による音楽会を市が実施する必要性は高い。			
	有効性	高い	市民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供し、小学校へのアウトリーチ活動も行うなど、「音楽のあふれるまちづくり」に資する効果は非常に高い。			
	効率性	高い	一流の指揮者による質の高い音楽会の開催だけでなく、子どもたちへのアウトリーチも行うなど、効率的な事業と認められる。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	引き続き現状の規模で実施する。			
	手法の改善	軽微な改善	佐渡裕氏が多忙となる中、兵庫芸術文化センター管弦楽団以外との共演等を検討し、佐渡氏と明石市との交流を継続していく必要がある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
子どもたちが一流の音楽に触れ親しむ機会として、アウトリーチ活動を継続して行う。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		財団支援事業	新規/継続	H24新規	整理番号	0130001000 - 007		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度		
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令 ・要綱等					
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
個別計画								

事業の 目的	対象（誰を・何を）	明石文化芸術創生財団
	意図（どういう状態にしたいのか）	文化の息づくまちづくりを推進するため、市の文化芸術全般にわたる業務を担う明石文化芸術創生財団に対して支援を行う。

事業内容	<平成24年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
22決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.25	アルバイト	0.00
23決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	再任用	0.00
24当初予算	15,210	2,100	17,310	0	0	0	17,310	0	0.00	任期付	0.00
										合計	0.25

23年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	24年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
							負担金補助及 び交付金
	合計		0		合計		15,210

整理番号	0130001000-007	事務事業名	財団支援事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	明石文化芸術創生基本計画において、重点施策として「コーディネート機能を持つ中間支援組織の設置」を掲げている。 中間支援組織を中心にゆるやかなネットワークの形成を図り、市民全体の文化芸術振興の基盤づくりを行っているために必要性は高い。			
	有効性	高い	必要性は高く、中間支援組織としての役割を果たすことで「文化の息づくまちあかし」に資する効果は高いものと認められる。			
	効率性	高い	財団に中間支援組織としての役割を果たしてもらうことで、ゆるやかなネットワークの形成及び市民全体の文化芸術振興の基盤づくりの推進を図り、効率化に努めている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	引き続き、効率的な運営を実施してもらう。			
	手法の改善	軽微な改善	財団が行う事業のうち、市民交響楽団運営事業については、市民交響楽団が主体的に運営できるよう、さらに検討していく必要がある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
財団が行う事業についての協議を行い、市民交響楽団運営事業については、市民交響楽団が主体的に運営できるよう検討する、中間支援組織としての機能が十分果たせるよう連携しながら支援していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術こどもクラブ開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 008	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	子ども
	意図（どういう状態にしたいのか）	次代を担う子どもたちが文化芸術に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育むことを目的とする。

事業内容	参加対象者：小学生から高校生まで(原則) 対象団体：社団、財団、NPO法人など 年度内に初心者を含む10人以上の参加者で10回以上の活動を市内の公的施設で開催することを原則とする。
	<p><平成22年度> 邦楽、邦舞、美術、生活文化、ダンス等を対象分野とする文化芸術こどもクラブの開催について、募集の結果、茶道、ダンス、三味線、詩吟、箏とヴァイオリンのアンサンブル、絵画の7団体に対し助成を決定し、文化芸術こどもクラブを開催した。小学生から高校生までの初心者を含む約200名が参加した。</p>
	<p><平成23年度> 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術こどもクラブの開催について、募集の結果、短歌教室、キッズダンス、バレエの3団体に対し、助成を決定し、文化芸術こどもクラブを開催した。初心者を含むこどもたち57名が参加した。</p> <p><平成24年度> 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術こどもクラブの開催について、募集の結果、キッズダンス、デッサン、陶芸、即興演劇、リコーダークラブ、紙芝居の6団体に対し、助成を決定し、文化芸術こどもクラブを順次開催していく。初心者を含むこどもたちが参加。</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	1,968	3,060	5,028	0	0	0	5,028	0.30	0.00	0.00
23決算	538	3,995	4,533	0	0	0	4,533	0.00	0.00	0.00
24当初予算	2,540	2,520	5,060	0	0	0	5,060	0.00	0.00	0.30

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
使用料及び賃借料	会議室使用料	5	報償費	選考委員謝礼	20
負担金補助及び交付金	文化芸術こどもクラブ開催事業補助金	533	需用費	募集要項用色上質紙	10
			使用料及び賃借料	会場使用料	10
			負担金補助及び交付金	文化芸術こどもクラブ開催事業補助金	2,500
	合計	538		合計	2,540

整理番号	0130001000-008	事務事業名	文化芸術こどもクラブ開催事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	子どもの参加人数	こどもクラブに参加申込みした人数	人	176	57	130
	指標で表せない成果					
	こどもたちの文化芸術活動の参加・体験活動の場を提供している。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	文化団体等が自発的にこどもの文化芸術活動の支援を行う仕組みを作り、こどもたちの文化芸術活動の促進を図るうえで、市が事業を行う必要性は高い。			
	有効性	やや高い	この事業は、文化庁からの助成制度と比べて、一部補助金の前払いを行うなど事業を実施する団体が利用しやすい制度となっており、こどもたちが文化芸術に親しむ機会を拡充するために、有効なもの認められる。			
	効率性	やや高い	平成23年度より助成制度の見直しを行い、助成金の中で大きな割合を占める謝金を助成対象外としている。主旨に賛同してもらった団体等の協力を得ながら、限られた助成金の中で少しでも多くこどもたちに様々な体験の場を提供できるよう努めている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性は高く、今後も同等の事業規模を維持すべきである。			
	手法の改善	軽微な改善	こどもたちのニーズに応じた体験教室が開催できるよう、文化団体が利用しやすい仕組みの調整等について行っていく必要がある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
こどもたちのニーズに応じた体験教室が開催できるよう、文化団体が利用しやすい仕組みの調整など改善を検討し、効果的な事業実施に努める。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民交響楽団支援事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 009	
			分割/統合				
関連 予算 科目 目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	音楽文化のすそ野の拡大と質の向上を図るため、市民力を活用したアマチュアの市民管弦楽団の運営に対する支援を行い、「音楽のあふれるまちづくり」を一層推進する。

事業 内容	<平成22年度>	7月11日(日) 明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラ演奏会を西部市民会館ホールで開催。 9月12日(日) 第8回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 3月20日(日) 第9回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動18回
	<平成23年度>	7月10日(日) 第2回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月11日(日) 第10回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 12月18日(日) 第29回明石第九演奏会で演奏。 2月5日(日) 第3回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催。 3月18日(日) 第11回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動21回(ジュニア・オーケストラ分含む)。
	<平成24年度>	7月8日(日) 第4回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月17日(月・祝) 第12回定期演奏会市民会館大ホールで開催(予定)。 2月3日(日) 第5回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催(予定)。 3月24日(日) 第13回定期演奏会を市民会館大ホールで開催(予定)。 ・アウトリーチ活動(予定)。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	その他
22決算	7,000	990	7,990	0	0	0	7,990	0.18	0.00	0.00
23決算	7,000	340	7,340	0	0	0	7,340	0.00	0.00	0.00
24当初予算	3,500	1,512	5,012	0	0	0	5,012	0.00	0.00	0.18

23年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	24年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	運営補助		7,000		負担金補助及び交付金
	合計		7,000		合計		3,500

整理番号	0130001000-009	事務事業名	市民交響楽団支援事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	アウトリーチ活動の回数	定期演奏会のほかに市民にどれだけ鑑賞の機会を提供できているか。	回	18	21	24
	指標で表せない成果					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	市民交響楽団設立、ジュニアオーケストラの設立により、音楽文化のすそ野の拡大、市民の芸術鑑賞の機会の拡充が図られ、市が運営を支援する必要性はやや高いと認められる。			
	有効性	やや高い	必要性がやや高く、音楽文化のすそ野の拡大や市民の芸術鑑賞の機会の拡充が図られ、有効なものと認められる。			
	効率性	やや低い	補助金を段階的に削減しているものの、演奏会の開催のほかにジュニアオーケストラの設立・運営、アウトリーチ活動も積極的に行っている。 必要性、有効性ともにやや高いものの、さらなる経費の節減に努め、効率的な運営を行う必要がある。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	引き続き、効率的な運営を実施してもらう。			
	手法の改善	軽微な改善	市民交響楽団の主体的な運営となるよう、明石文化芸術創生財団とともに運営の在り方を検討していく必要がある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
市民交響楽団が主体的に運営できるよう検討していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石将棋フェスティバル開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 010	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	事業	文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	個別計画	文化芸術創生基本計画					

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	伝統文化である将棋に親しむとともに、豊かな人間性を身につける機会を提供する。

事業内容	<平成22年度>	小・中学生を対象とする子ども将棋大会や指導対局、大盤解説、講演会等を開催。 2月5日(土)生涯学習センターで開催。
	<平成23年度>	2月4日(土)小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 2月5日(日)プロ棋士による指導対局、ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰と内藤九段との記念対局、明石市在住の女流初段のインタビュー、プロ棋士の公開対局を開催。 イベントとして12月に親子将棋入門教室を開催し、参加者を本番の青少年将棋大会へ招待(17名)
	<平成24年度>	2月9日(土)小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 2月10日(日)プロ棋士による指導対局、ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰とプロ棋士との記念対局、プロ棋士の公開対局を開催予定。 イベントとして12月に親子将棋入門教室を開催し、参加者を本番の青少年将棋大会へ招待する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	1,243	2,970	4,213	0	0	0	4,213	0.20	0.00	0.00
23決算	1,310	4,345	5,655	0	0	0	5,655	0.00	0.00	0.00
24当初予算	1,170	2,070	3,240	0	0	0	3,240	0.15	0.35	0.35

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額		
						23年度決算事業費明細	報償費
	需用費	消耗品費	26		委託料	将棋フェスティバル開催委託	1,100
	役員費	舞台人件費	43				
	委託料	将棋フェスティバル開催委託	1,050				
	使用料及び賃借料	会場使用料	119				
	合計		1,310		合計		1,170

整理番号	0130001000-010	事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	参加申込み	参加申込み人数	人	315	442	450
	指標で表せない成果					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「各種市民参加型事業の推進」を重点施策としてあげている。・将棋を通じ、社会の基本的ルールや思いやり、礼儀を学び次代を担う子供の育成であるとともに伝統文化に触れる機会を提供している。			
	有効性	やや高い	将棋を始めて日が浅い子どもから将棋に詳しい大人まで楽しめるプログラム内容が豊富で、市民が将棋に親しむ機会を提供している。			
	効率性	やや高い	豊富なプログラムを将棋連盟と連携、協力をはかりながら安価で開催を重ねている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	平成23年度から2日間の開催にしており、プログラム内容の充実をはかり、今年度も継続する。			
	手法の改善	軽微な改善	参加者の増大を図るため、平成23年度から実施している「親子将棋入門教室」の内容を充実させ、さらに将棋に親しむ機会を広げ、参加者の増大につなげる。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
平成23年10月、明石市に現役高校生のプロ棋士が誕生したことにより、今までになく将棋がひそかなブームになっている。誕生したプロ棋士と連携することにより賑わいのある街づくりを行うとともに、次代を担う子供たちの育成に役立てる。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石の春を詠む吟行俳句会開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 011	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	明石のまちを散策し俳句に親しむ機会を提供するとともに、賑わいのあるまちづくりに資する。

事業 内容	<平成22年度>	春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月5日(土)市民会館中ホールで開催。
	<平成23年度>	春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月3日(土)市民会館中ホールで開催(予定)。
	<平成24年度>	春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月2日(土)市民会館中ホールで開催(予定)。 文芸祭のジュニア俳句部門の入賞者を親子で招待し吟行俳句会に参加していただく予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	574	3,600	4,174	0	0	0	4,174	0.30	0.00	0.00
23決算	569	5,438	6,007	0	0	0	6,007	0.00	0.00	0.00
24当初予算	450	2,858	3,308	0	0	0	3,308	0.13	0.13	0.43

23年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	24年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	司会、講師、選者等謝礼		377		報償費
	需用費	チラシ印刷代等	76		委託料	警備委託	50
	役務費	賞状筆耕料	6		使用料及び賃借料	会場使用料	100
	委託料	警備委託	19				
	使用料及び賃借料	会場使用料	91				
	合計		569		合計		450

整理番号	0130001000-011	事務事業名	明石の春を詠む吟行俳句会開催事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	参加人数	参加申込み人数	人	342	338	450
	指標で表せない成果					
	各俳誌の代表者が出席し、あわせて各代表の作品の披露、さらに参加作品の講評を直接聞くことができるこの事業は市内の愛好者もちろんのこと、市外からの参加者も多い。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「各種市民参加型事業の推進」を重点施策として掲げている。・文化の振興を図るとともに、まちの賑わいづくりにつなげている。			
	有効性	やや高い	・明石の風景や歴史を歌に詠むことで明石のまちの良さを再認識するとともに明石のまちを広く発信している。			
	効率性	やや高い	・各俳誌の代表者、及び地元の愛好者の連携協力により、安価な費用で開催している。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性、有効性ともにやや高く、今後も開催を重ねていく。			
	手法の改善	軽微な改善	各俳誌の代表者、及び地元の愛好者との連携を図り、市民参加の増大をはかる。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
「明石の春」をできるだけ広い範囲で感じてもらえる工夫を行うなど実施内容について検討していく必要がある。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		中崎寄席開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 012		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 2 年度		
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
施策分野		2 教育・文化分野	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
		2-4 文化芸術の振興						
個別計画		文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民に優れた古典芸能を鑑賞する機会を提供するとともに、伝統文化にふれ親しむ機会の拡充を図る。

事業内容	<平成22年度>	歴史と風格のある中崎公会堂で、寄席を開催。 10月16日(土)に開催。
	<平成23年度>	生涯学習センター子午線ホールで、寄席を開催。 10月2日(日)に開催。
	<平成24年度>	生涯学習センター子午線ホールで、寄席を開催。 10月13日(土)に開催予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	1,513	1,350	2,863	0	0	901	1,962	0.40	0.00	0.00
23決算	1,585	3,851	5,436	0	0	0	5,436	0.00	0.00	0.00
24当初予算	1,925	3,386	5,311	0	0	900	4,411	0.01	0.01	0.41

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		需用費	消耗品、チラシ印刷費等		168		需用費
	役務費	舞台人件費、チケット販売手数料、スタッフ人件費	197		役務費	舞台人件費、チケット販売手数料	240
	委託料	出演委託料	1,155		委託料	出演委託料	1,500
	使用料及び賃借料	会場使用料	65		使用料及び賃借料	会場使用料	90
	合計		1,585		合計		1,925

整理番号	0130001000-012	事務事業名	中崎寄席開催事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	参加人数	鑑賞した人数	人	253	293	293
	指標で表せない成果					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「多様な文化芸術の鑑賞機会の提供」を重点施策として掲げている。・古典芸能を鑑賞する機会を提供するとともに、市民が身近に古典芸能に触れることで生活に潤いと安らぎを提供することができる。			
	有効性	やや高い	・市民に古典芸能に触れる機会として定着している。			
	効率性	やや高い	・安価な金額で人気の落語家を迎え開催を重ねている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	・市民に古典芸能に触れる機会を提供するとともに、まちの賑わいづくりにもつながっている。今後も出演者の理解と協力をもとめながら開催を重ねていきたい。			
	手法の改善	軽微な改善	・市民に親しまれる行事として会場雰囲気を盛り上げる工夫をする。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
主催事業であるものの興業的要素が強く、文化振興課実施事業として精査し検討を行う必要がある。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石薪能開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 013	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 元 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより伝統文化に親しむ機会の拡充を図る。

事業内容	<p><平成22年度> 第13回明石薪能を明石公園で開催 10月1日(金)入場者数 約1,000人。</p> <p><平成23年度> 第14回明石薪能を明石公園で開催。 明石薪能本番前に「こども仕舞」の練習成果の舞台発表。(参加者17名) 10月22日(土)入場者数 約600人。</p> <p><平成24年度> 第15回明石薪能を明石公演で9月16日(日)開催予定。 こども仕舞の参加者を公募したところ、昨年を上回る20名の応募があった。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表する。</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	5,000	7,470	12,470	0	0	0	12,470	0.60	0.00	0.00
23決算	5,000	7,931	12,931	0	0	0	12,931	0.00	0.00	0.00
24当初予算	5,000	5,066	10,066	0	0	0	10,066	0.01	0.01	0.61

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金		5,000		負担金補助及び交付金
	合計		5,000		合計		5,000

整理番号	0130001000-013	事務事業名	明石薪能開催事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果 伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供できている。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	明石文化芸術創生基本計画において、「市民が伝統的な文化芸術に親しむ機会の提供」を重点施策として掲げている。 伝統芸能を守り、次代へと継承していくことは市の責務であり、市が主体的に実施する意義が大きいものとする。			
	有効性	やや高い	市民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会、伝統文化に親しむ機会を提供する事業として有効なものとする。			
	効率性	低い	必要性、有効性ともにやや高い事業ではあるが、舞台は常設できないため、毎回組み立て・撤去に多額の経費がかかっている。また、事務局を市が担っているため、開催にかかる諸準備等、事務量が多く、事業費・人件費ともに効率性が低い。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性、有効性ともにやや高く、概ね現状の規模で維持していく。			
	手法の改善	軽微な改善	内容の充実を図り、チケット売上収入が向上するよう改善していく必要がある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
初めての方でも楽しめるような演目の選択など内容の充実を図り、チケット売上収入の向上を図っていく。 また、次世代育成の取り組みとして、こどもたちの参加・体験や鑑賞機会の拡充を図る。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石松竹歌舞伎開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 014	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
事業		文化芸術振興事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
施策分野		2 教育・文化分野						
		2-4 文化芸術の振興						
個別計画		文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民	
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民に優れた伝統芸能を鑑賞する機会を提供し、市民が身近に伝統文化にふれ親しむ機会の拡充を図る。	

事業内容	<平成22年度>	歌舞伎鑑賞教室を開催。 7月15日(木) 市民会館大ホール	
	<平成23年度>	明石松竹歌舞伎の開催。 小中学生のこどもたちの歌舞伎体験を実施。 6月19日(日) 市民会館大ホール	
	<平成24年度>	明石松竹歌舞伎の開催。 小中学生のこどもたちの歌舞伎体験を実施。 6月23日(土) 市民会館大ホール	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	2,762	3,150	5,912	0	0	458	5,454	0.30	0.00	0.00
23決算	2,907	4,085	6,992	0	0	0	6,992	0.00	0.00	0.00
24当初予算	3,070	2,780	5,850	0	0	1,800	4,050	0.10	0.10	0.40

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	チラシ印刷費、演者等ケータリング	70		需用費	演者等ケータリング	20
役務費	舞台人件費、大道具搬入出アルバイト人件費、チケット販売手数	279	役務費	舞台人件費、大道具搬入出アルバイト人件費、チケット販売手数	300		
委託料	出演委託、警備委託	2,449	委託料	出演委託、警備委託、チラシ等制作委託	2,500		
使用料及び賃借料	会場使用料	109	使用料及び賃借料	会場使用料	250		
	合計		2,907		合計	3,070	

整理番号	0130001000-014	事務事業名	明石松竹歌舞伎開催事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	参加人数	鑑賞した人数		人	1003	668
指標で表せない成果						
歌舞伎の鑑賞だけでなく、歌舞伎の見どころなどの解説や子どもたちが出演する立ち回りなどの体験コーナーを通してより優れた伝統芸能の理解を深めることができる。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「多様な文化芸術の鑑賞機会の提供」を重点施策として掲げている。 ・市民に古典芸能の鑑賞機会を提供するとともに、情操教育の一環として次代を担う子供たちの育成につなげる。
	有効性	やや高い	質の高い歌舞伎鑑賞教室の機会を提供している。
	効率性	やや高い	安価な金額で質の高い歌舞伎の開催を実施している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	必要性、有効性ともにやや高く、実施状況を検証しながら今後も開催を重ねていく。
	手法の改善	軽微な改善	次世代への取り組みとして「子供たちの文化芸術への参加・体験活動の促進」を重点施策としてあげており、子供たちに鑑賞してもらう数を増やしていく工夫をしていく。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
今後の事業展開方針			
子供たちに伝統芸能を鑑賞してもらう機会を増やす工夫をしていく。			

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		子ども・親子対象芸術鑑賞事業	新規/継続	H24新規	整理番号	0130001000 - 015	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等				
事業		文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	個別計画		文化芸術創生基本計画			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	次代を担う子どもたちに芸術鑑賞の機会を提供するとともに、芸術に触れる機会の少ない乳幼児を抱える子育て世代の鑑賞機会の拡充を図る。

事業内容	<平成22年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を試行実施。 平成23年3月1日 明石市生涯学習センター子午線ホールで2回開催。 入場者数 2公演合わせて160組 342名
	<平成23年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を試行実施。 平成23年10月16日 明石市立西部市民会館練習室で2回開催。 入場者数 2公演合わせて43組 116名
	<平成24年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催。 平成24年10月3日 明石市立西部市民会館ホール 平成24年10月7日 明石市生涯学習センター子午線ホール で開催予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
22決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.27	0.00	0.00
23決算	21	0	21	0	0	0	21	再任用	0.00	0.00	0.00
24当初予算	397	2,268	2,665	0	0	0	2,665	任期付	0.00	合計	0.27

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費、ケータリング	5	報償費	出演謝礼、司会謝礼	215
使用料及び賃借料	会場使用料	16	需用費	チラシ等印刷費	40
			役務費	舞台人件費	80
			使用料及び賃借料	会場使用料	62
合計		21	合計		397

整理番号	0130001000-015	事務事業名	子ども・親子対象芸術鑑賞事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	入場者数	音楽鑑賞会に来られた人数	人	342	116	470
	指標で表せない成果					
	<p>普段、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図れる。</p> <p>昨年試行実施した乳児とともに鑑賞するクラシック音楽会(BMM)では、「赤ちゃんが泣いても、周りや演奏者に遠慮せずに音楽を鑑賞できた」と大変好評を得た。</p>					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	明石文化芸術創生基本計画において、「誰もが文化芸術に出会い関わることのできるしくみづくり」を重点施策として掲げている。 乳幼児を抱える母親がクラシック音楽会などに参加することは困難で疎遠になりがちだったが、乳幼児とともに「赤ちゃんが泣いても、周りや演奏者に遠慮せずに音楽を鑑賞できる」機会を提供することで、誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充が図られ、必要性は高いと認められる。			
	有効性	高い	必要性は高く、誰もが文化芸術に触れ親しむ機会の拡充が図られ、有効なものと認められる。			
	効率性	高い	事業の主旨に一流アーティストに賛同していただくことで、音楽会の内容等に協力を得ており、効率的な事業運営ができています。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	拡充	毎回定員を大幅に上回る応募があるため、子育て中の方や妊婦がより多く参加しやすいように、今後は明石市内の東部・西部地域において2回の公演を行い、子育て世代の方のニーズに沿う形で事業を展開していく。			
	手法の改善	軽微な改善	今年度は、妊婦にも対象を広げて事業を行う。 毎回定員を大幅に上回る応募があるため、子育て中の方や妊婦がより多く参加してもらえるよう改善を行っていく。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
毎回定員を大幅に上回る応募があるため、子育て中の方や妊婦がより多く参加しやすいように、今後は明石市内の東部・西部地域において2回の公演を行い、子育て世代の方のニーズに沿う形で事業を展開していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	姉妹都市交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 016	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度	
	事業	姉妹都市交流事業	根拠法令・要綱等	姉妹都市提携			
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	4-6 都市間交流・国際交流の推進						
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、アメリカ合衆国バレホ市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、バレホ市と必要な連絡調整を行う。

事業内容	<平成22年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成23年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成24年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他
22決算	92	450	542	0	0	0	542	0.08	0.00	0.00	0.00
23決算	62	510	572	0	0	0	572	0.00	0.00	0.00	0.00
24当初予算	141	672	813	0	0	0	813	0.00	0.00	0.00	0.08

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼			6	報償費	通訳謝礼
役務費	文書翻訳料		56	役務費	文書翻訳料	101	
	合計		62		合計		141

整理番号	0130001000-016	事務事業名	姉妹都市交流推進事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
バレホ市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> バレホ市との交流は姉妹都市提携から40年を超え、本市の国際交流を基礎付けるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を今後さらに発展させていく必要がある。 交流の主役は市民であるが、姉妹都市提携はお互いの市と市が締結したものであることから、市として事業を実施する必要がある。 			
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 長きにわたる交流の成果として、両市は良好な関係を構築している。 市民間交流のスムーズな実施のために、バレホ市との連絡調整を続けている。 			
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施にあたっては、市だけで実施するのではなく明石姉妹都市協会等の市民団体との協働により進めている。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	バレホ市との連絡調整をおこなう上で必要最小限の予算額であり、現在の規模で継続する。			
	手法の改善	維持	バレホ市との連絡調整をおこなう上で必要最小限の事業を実施しており、現在の手法を継続する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
今後の事業展開方針						
現状通り進める。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		友好都市交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 017	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	友好都市提携			
	事業	友好都市交流事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
施策分野	4 生活・環境分野							
	4-6 都市間交流・国際交流の推進							
個別計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民	
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、無錫市と必要な連絡調整を行う。	

事業内容	<平成22年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成23年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成24年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他
22決算	38	450	488	0	0	0	488	0.07	0.00	0.00	0.00
23決算	3	510	513	0	0	0	513	0.00	0.00	0.00	0.00
24当初予算	201	588	789	0	0	0	789	0.00	0.00	0.07	0.07

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		役務費	文書翻訳料		3		報償費
					旅費	出張旅費	60
					役務費	文書翻訳料	101
	合計		3		合計		201

整理番号	0130001000-017	事務事業名	友好都市交流推進事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
	無錫市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 無錫市との交流は友好都市提携から30年を超え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 			
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 長きにわたる交流の成果として、両市は良好な関係を構築している。 市民同士が継続的に交流できるよう、無錫市側との連絡調整を続けている。 			
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施にあたっては、市だけで実施するのではなく明石市日中友好協会等の市民団体との協働により進めている。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	無錫市との連絡調整をおこなう上で必要最小限の予算額であり、現在の規模で継続する。			
	手法の改善	維持	無錫市との連絡調整をおこなう上で必要最小限の事業を実施しており、現在の手法を継続する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
今後の事業展開方針						
現状通り進めていく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石市友好訪中国派遣事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 018	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	友好都市提携			
	事業	友好都市交流事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
施策分野	4 生活・環境分野							
	4-6 都市間交流・国際交流の推進							
個別計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民	
	意図（どういう状態にしたいのか）	公式団を派遣し、両市の相互理解と友好関係をさらに深める。	

事業内容	<平成22年度>	・友好都市提携30周年に向けての事前協議団 人数:2人 期間:平成22年10月24日～27日(4日間)	
	<平成23年度>	・明石市友好訪中国(無錫市での30周年事業に参加) 人数:4人 期間:平成23年8月27日～30日(4日間)	
	<平成24年度>	・明石市友好訪中国(無錫市国際友好都市交流会参加 ほか) 人数:8人程度 時期、期間:未定	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	723	4,320	5,043	0	0	0	5,043	0.42	0.00	0.00
23決算	1,143	4,675	5,818	0	0	0	5,818	0.00	0.00	0.00
24当初予算	2,530	3,528	6,058	0	0	0	6,058	0.00	0.00	0.42

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼		180		報償費
	旅費	訪中旅費 出張旅費	732		旅費	訪中旅費	2,000
	需用費	消耗品等	194		需用費	消耗品等	200
	役務費	海外専用携帯電話通話料	37		役務費	海外専用携帯電話通話料	30
	合計		1,143		合計		2,530

整理番号	0130001000-018	事務事業名	明石市友好訪中団派遣事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
	無錫市への公式団派遣により、両市幹部が直接交流することで相互理解が深まっている。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 無錫市との交流は友好都市提携から30年を超え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 中国との交流では、行政間の交流の基盤のうえに市民同士の交流が成り立っていることから、市が公式団を派遣し、無錫市側と信頼関係を構築することに必要性が認められる。 			
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 公式団の派遣により、両市の幹部同士が直接意見交換する中で、相互理解を深めるとともに友好関係の強化が図られている。 			
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 必要最小限の予算の中で実施している事業であり、削減の余地は少ない。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	現状通り続ける。			
	手法の改善	維持	現状通り続ける。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止			手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
今後の事業展開方針						
最少の経費で最大の効果が得られるよう、今後も検討を重ねる。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		無錫市友好交流団受入事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 019	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	友好都市提携			
施策分野	4 生活・環境分野		4-6 都市間交流・国際交流の推進	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
					<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民	
	意図（どういう状態にしたいのか）	無錫市からの友好交流団受け入れを通じて、両市の相互理解と友好交流を推進する。	

事業内容	無錫市友好交流団の来明を受け入れ、交流事業を行う		
	<平成22年度>		
	・無錫市友好訪問団(無錫市人民代表大会常務委員会副秘書長ほか) 人数:10人 期間:平成22年7月20日(1日間) ・無錫市友好交流団(無錫市政治協商会議主席ほか) 人数:7人 期間:平成23年2月24日～25日(2日間)		
<平成23年度>			
・無錫市友好交流団(友好都市提携30周年記念関連。無錫市人民政府副市长ほか) 人数:5人 期間:平成23年10月31日～11月2日(3日間)			
<平成24年度>			
・無錫市友好交流団(無錫市人民代表大会常務委員会副主任ほか) 人数:5人 期間:平成24年4月25日～4月26日(2日間)			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	431	5,670	6,101	0	0	0	6,101	0.49	0.00	0.00
23決算	518	3,400	3,918	0	0	0	3,918	0.00	0.00	0.00
24当初予算	1,420	4,116	5,536	0	0	0	5,536	0.00	0.00	0.49

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼		95		報償費
	旅費	出張旅費	3		需用費	消耗品等	280
	需用費	消耗品等	211		委託料	受入事業委託	750
	使用料及び賃借料	ホテル使用料	209		使用料及び賃借料	ホテル使用料	230
	合計		518		合計		1,420

整理番号	0130001000-019	事務事業名	無錫市友好交流団受入事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
無錫市からの友好交流団受け入れにより両市の交流が進んでいるとともに、友好都市・無錫に対する市民の関心が高まっている。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 無錫市との交流は友好都市提携から30年目を迎え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 中国との交流では、行政間の交流の基盤のうえに市民同士の交流が成り立っていることから、無錫市の公式団等の友好交流団を市として受け入れることは必要であると認められる。 			
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 友好交流団の受け入れにより、両市幹部が直接意見交換する中で、相互理解や友好関係の強化が図られている。 			
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 無錫市からの友好交流団受け入れに際しては、宿泊場所の予約等滞在に係る手配を明石市国際交流協会に委託するなどして、事務の効率化に努めている。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	現状通り進める。			
	手法の改善	軽微な改善	受け入れ業務の委託内容の精査を進め、より効率的な実施を図る。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
国際的な儀礼を失しないことを前提に、今後も友好交流団の受け入れにかかる経費の削減を検討していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		無錫市研修生受入事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 020	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費		連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	目	文化振興・国際交流費		根拠法令・要綱等	友好都市提携			
	事業	友好都市交流事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
施策分野	4 生活・環境分野							
	4-6 都市間交流・国際交流の推進							
個別計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民	
	意図（どういう状態にしたいのか）	無錫市関係者の研修を通じて、無錫市の発展に資するとともに、市民との交流により両市の相互理解と友好関係の進展を図る。	

事業内容	・中国無錫市から行政関係者を中心とする研修生を受け入れ、明石市の市政等について研修を行う。 ・研修期間中、市民との交流の機会を持つ。	
	<平成22年度>	人数:2人 期間:平成23年2月12日～3月1日(18日間) テーマ:障害福祉
	<平成23年度>	人数:3人 期間:平成24年2月11日～28日(18日間) テーマ:行政システム
	<平成24年度>	人数:3人 期間:20日間 時期、テーマ未定

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	830	6,120	6,950	0	0	0	6,950	0.48	0.00	0.00
23決算	1,092	2,125	3,217	0	0	0	3,217	0.00	0.00	0.00
24当初予算	1,520	4,032	5,552	0	0	0	5,552	0.00	0.00	0.48

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼			50	報償費	通訳謝礼
需用費	消耗品等		222	需用費	消耗品等	265	
委託料	受入事業委託		619	委託料	受入事業委託	800	
使用料及び賃借料	ホテル使用料		201	使用料及び賃借料	ホテル使用料	330	
合計			1,092	合計			1,520

整理番号	0130001000-020	事務事業名	無錫市研修生受入事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
明石市で研修した無錫市からの研修生が、その成果を無錫市にフィードバックしている。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 無錫市との交流は友好都市提携から30年を超え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 無錫市からの研修生の受け入れについては同市の発展に寄与するものであり、派遣に対する同市の強い意向があるとともに、本市市民との交流を通して相互理解と友好関係の進展に寄与するものであるため、必要性が高いと考えている。 			
	有効性	やや低い	約3週間、日本に滞在することから有効な研修カリキュラムを編成できるとともに、市民との交流事業も組み込みやすいことから、明石市民の国際交流推進の意味からも有効性は認められるが、研修の成果が本市に直接利益をもたらすものではないため、総合的に考えると有効性はやや低いと言わざるを得ない。			
	効率性	やや高い	受け入れの際は、宿泊場所の手配等を明石市国際交流協会へ委託することにより、事務の効率化に努めている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 「研修生」と「文化、スポーツ団等」を隔年で招請するよう、事業内容の変更を検討する。 「文化、スポーツ団等」は研修生より多人数になることが予想されるので、事業費の拡充が必要である。 			
	手法の改善	軽微な改善	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き業務委託の手法を用いて、より効率的な実施を図る。 研修生からのレポート提出等、研修効果をフィードバックさせるよう手法に工夫を加える。 文化、スポーツ団の受け入れについても、明石市国際交流協会に業務委託し事務の効率化を図る。 			
事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針						
国際的な儀礼を失わないことを前提に、今後も研修生等の受け入れにかかる経費の削減を検討していく。 毎年の研修生受け入れを見直し、「研修生」と「文化、スポーツ団等」を隔年で受け入れることで、市民間交流の促進を図る。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	国際交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 021	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	国際交流事業	根拠法令 ・要綱等	明石市国際交流協会設立			
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	4-6 都市間交流・国際交流の推進						
個別計画							

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民(在住外国人を含む)	
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の国際理解を深め、多文化共生・地域国際化を推進する。	

事業 内容	・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。 ・国際交流促進事業(主な内容は下記 ～)を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。 国際交流・協力啓蒙事業(国際交流ボランティアの募集・育成 など) 多文化共生事業(国際理解講演会、小中学校へのゲスト ティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など) 国際交流活動助成事業(最大5万円を市民団体に助成) <平成22年度>(3月31日現在) 会員数483人、ボランティア登録人数延べ173人 国際理解講演会 にしゃんた「予期せぬ 素敵な発見・出会い」 150人参加 ゲストティーチャー派遣件数 延べ11件35人 通訳・翻訳 延べ12件27人(英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語) 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間915回 国際交流活動助成 5団体に計17万2500円を助成 <平成23年度>(3月31日現在) 会員数538人、ボランティア登録人数延べ173人 国際理解講演会 西靖「世界一周旅物語」 290人参加 ゲストティーチャー派遣件数 2件5人 通訳・翻訳 延べ28件50人(英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、モンゴル語) 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 873回 国際交流活動助成 4団体に計16万円を助成予定 <平成24年度>(年度末見込み) 会員数570人、ボランティア登録人数延べ180人 国際理解講演会 11月開催予定(講師検討中) 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1000回(見込み) 国際交流活動助成		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.55	アルバイト	0.00
22決算	8,605	3,240	11,845	0	0	0	11,845	正規	0.55	アルバイト	0.00
23決算	9,521	680	10,201	0	0	0	10,201	再任用	0.00	その他	0.00
24当初予算	9,917	4,620	14,537	0	0	0	14,537	任期付	0.00	合計	0.55

23年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	24年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	出張旅費			43	報償費	通訳謝礼
需用費	消耗品等		58	旅費	出張旅費	114	
委託料	国際交流促進事業委託		9,400	需用費	消耗品等	180	
負担金補助及び交付金	年会費		20	役務費	文書翻訳料	68	
				委託料	国際交流促進事業委託	9,400	
				その他		115	
	合計		9,521		合計	9,917	

整理番号	0130001000-021	事務事業名	国際交流推進事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進み、国際交流に関する理解や重要性の認識が深まることにより、国際交流協会の会員数が増える。	人	483人	538人	570人
	国際交流協会ボランティア活動実績	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。	回	915回	873回	1000回
指標で表せない成果						
市民の国際交流に対する理解を深めることで、地球上には様々な国や地域、民族があり、多様な考え方を持つ人々がそれぞれの価値観に基づいて暮らしていることを理解し、お互いに尊重していこうという多文化共生社会の考え方が普及している。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	国際化、ポータレス化が著しい現代社会において、在住外国人を含む諸外国の人々との交流を推進し相互理解を深めることは市民にとって非常に重要なことであり、行政としては多文化共生社会づくりや地域国際化に向けた取り組みを積極的に進める必要がある。			
	有効性	やや高い	・各種講演会や交流会を開催し、国際理解の浸透や多文化共生社会の実現に向けた事業を進めている。 ・在住外国人を対象とした事業として、日本語学習会「いろはクラブ」を開催しているほか、日本文化を体験できるイベントを開き、参加を呼びかけている。			
	効率性	高い	明石市国際交流協会への業務委託によって各種の国際交流事業を実施しており、効率化を図っている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	拡充	従前より実施してきた多文化共生社会の実現に関する事業のより一層の充実を図るとともに、国際交流協会と連携し、無錫市・パレホ市との活発な市民間交流を推進する。			
	手法の改善	軽微な改善	国際交流協会の運営に会員がさらに自主的にかかわり、活発に活動を進めていけるよう、ボランティア育成に向けた検討を進める。			
事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針						
今後、市民の意見をより一層反映させながら、多文化共生・地域国際化の推進に努める。 国際交流協会については、多文化共生社会づくりへ向けた事業を実施するとともに、今後は無錫市、パレホ市との市民間交流の窓口を担う等、交流の柱になり、国際交流関連事業を展開する。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	諸外国との交流事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 022	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度	
	事業	国際交流事業	根拠法令・要綱等				
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	4-6 都市間交流・国際交流の推進						
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	姉妹都市・友好都市提携先以外の諸外国との国際交流を推進し、市民の国際理解を深める。

事業内容	<平成22年度> 執行なし
	<平成23年度> 執行なし
	<平成24年度> ・諸外国からの訪問団の受入 受入人数：4人程度 時期、期間：未定（4日間程度）

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
22決算	0	1,350	1,350	0	0	0	1,350	0.11	0.00	0.00	0.00
23決算	0	85	85	0	0	0	85	0.00	0.00	0.00	0.00
24当初予算	440	924	1,364	0	0	0	1,364	0.00	0.00	0.11	0.11

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
					報償費	通訳謝礼	110
					需用費	消耗品等	110
					委託料	受入事業委託	200
					使用料及び賃借料	ホテル使用料	20
	合計		0		合計		440

整理番号	0130001000-022	事務事業名	諸外国との交流事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
	諸外国との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解が深まっている。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	市民の国際交流についての理解を深め、多文化共生社会を推進する取り組みは、グローバル社会を迎えた現代において行政に求められる施策の一つである。諸外国の都市等から交流希望があった場合に受け入れ等の対応をすることは、地域国際化を進めるうえで有意義であり、国際儀礼の観点からも市として実施する必要性が高い事業である。			
	有効性	やや高い	諸外国からの訪問団受け入れや派遣を進めることは、市民が国際交流への理解を深める効果的な方法である。			
	効率性	やや高い	受け入れについては明石市国際交流協会に手配を委託するなどにより、事務の効率化に努めている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	現状通り進める。			
	手法の改善	軽微な改善	受け入れ業務の委託内容の精査を進め、より効率的な実施を図る。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
国際的な儀礼を失しないことを前提に、今後も訪問団受け入れにかかる経費の削減を検討していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 023	
			分割/統合				
関連予算科目目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5608			
	目	文化博物館費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度	
	事業	文化博物館運営事業	根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立文化博物館					
	意図（どういう状態にしたいのか）	明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。					

事業内容	事業の目的のために、展覧会、貸館業務、施設維持管理業務、その他の業務を行う。						
	<p>指定管理者による展覧会の実施 平成22年度 特別展3回、特別企画展2回、企画展4回、共催展1回、観覧者数67,535人 平成23年度 特別展3回、特別企画展1回、企画展4回、共催展1回 観覧者数136,037人 平成24年度計画 特別展3回、特別企画展1回、企画展4回、観覧者数83,580人</p> <p>指定管理者による貸館事業 平成22年度 ギャラリー（18件、稼働率87.2%、利用者数20,133人）、会議室（29件、稼働率25.9%、利用者数1,501人） 平成23年度 ギャラリー（20件、稼働率90.4%、利用者数18,709人）、会議室（32件、稼働率19.6%、利用者数1,536人）</p> <p>指定管理者による施設維持管理業務の実施 平成22年度 修繕48件 平成23年度 修繕60件</p> <p>指定管理者による博物館資料の整備 資料購入数 平成22年度 2点 平成23年度 1点 寄贈資料の受け入れ 平成22年度 9件60点 平成23年度 9件60点</p> <p>学校観覧数（小・中・特別支援学校） 平成22年度 71校 平成23年度 74校</p> <p>ボランティア育成事業 平成22年度 登録人数69人、活動延べ人数689人 平成23年度 登録人数82人、活動延べ人数885人</p>						

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				24年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	その他
22決算	157,871	12,400	170,271	0	0	1,673	168,598	1.10	0.00	0.00
23決算	158,634	11,730	170,364	0	0	1,563	168,801	0.15	0.00	0.00
24当初予算	152,350	9,750	162,100	0	0	1,340	160,760	0.00	0.00	1.25

23年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	指定管理者選定委員会の委員謝礼	40		260	報償費	指定管理者選定委員会の委員謝礼
旅費	指定管理者選定委員会の委員旅費	2	10	旅費	指定管理者選定委員会の委員旅費	10	
需用費	ハロゲン消火設備修繕	4,305	30	需用費	指定管理者選定委員会の開催に伴う消耗品費	30	
委託料	指定管理料	154,194	152,000	委託料	指定管理料	152,000	
使用料及び賃借料	指定管理者選定委員会の開催に伴う会場使用料	3	50	使用料及び賃借料	指定管理者選定委員会の開催に伴う会場使用料	50	
備品購入費	ポータブル音響システムの購入	90					
	合計	158,634	152,350		合計	152,350	

整理番号	0130001000-023	事務事業名	文化博物館運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	人	67,535	136,037	83,580
	<p align="center">指標で表せない成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 明石の歴史や明石にゆかりのある作家の展覧会を実施することにより、郷土への理解を深めることに貢献している。また、質の高い展覧会を実施することで、生活や創造活動への活力を生み出している。 学校観覧では、実物に触れることで、児童・生徒が学習の理解を深め、新たな興味を抱く場として利用されている。 ボランティア活動では、来館者の満足度を高めるとともに、世代間交流やボランティア自身の自己実現の場としても機能している。 					
事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明			
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> 明石市立文化博物館条例、第5次長期総合計画及び明石文化芸術創生基本計画に基づき、明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として事業を実施していく必要がある。 			
	有効性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を導入することにより、開館時間の延長などの市民サービスの向上が図られている。 展覧会は年間計画どおりに開催され、明石の歴史や文化の展示、優れた芸術の鑑賞の場を提供できており、観覧者の増加も図られている。 指定管理者制度では、指定管理者の変更により学芸員も入れ替わるため、継続的な明石の歴史や文化に関する調査・研究や学術資料の整理・保管、人材育成に関して課題がある。 			
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者から日、月、四半期、年度の報告を受け、市と指定管理者が定期及び随時の協議の場を持ち、市が指導、監督を行うことで、より適正な管理・運営を行っている。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	<ul style="list-style-type: none"> 市として明石の歴史・文化に関する啓発や質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図っていくことは必要である。指定管理者制度の導入によっても、同様のサービス等が提供されていることから、必要性が高く、有効性もやや高い当事業は現状どおりの規模で継続する必要がある。 			
	手法の改善	軽微な改善	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を導入して5年が経過するが、継続的な明石の歴史や文化に関する調査・研究、学術資料の整理・保管、人材育成に課題があり、手法については今後も検証していく必要がある。 			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
<p align="center">今後の事業展開方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化博物館の運営に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証していきながら、市民サービスの向上や明石の歴史・文化に関する啓発、優れた芸術鑑賞の場の提供に努めていく。 						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化博物館施設整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 024	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5608			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度	
	目	文化博物館費	根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則			
事業		文化博物館施設整備事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		個別計画			
個別計画		文化芸術創生基本計画					

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立文化博物館
	意図（どういう状態にしたいのか）	破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。

事業内容	文化博物館施設・設備の整備	
	<平成22年度> 屋外サイン設置委託 従前の館名表示は、壁面スモークガラス内部に白色ネオンを設置しており、夜間はよく見えるが日中は見えにくいいため、新たな屋外サインを設置した。 委託料 3,990千円	
	<平成23年度> 空調設備改修工事設計委託 平成3年の開館以来、空調設備を更新しておらず、また市有建築物の中長期保全計画においても熱源更新の時期となっているため、空調設備改修工事の設計を行った。 委託料 2,048千円 電話設備購入 不具合を部品交換により解消したが、機器の製造年が古く、今後部品の調達が困難であるため、館の運営・業務に支障が出ないよう電話交換機設備を更新した。 備品購入費 325千円	
	<平成24年度見込み> 空調設備改修工事 平成23年度に実施した空調設備改修工事実施設計に基づき、空調設備改修工事を行う。 工事請負費 69,185千円	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	3,990	3,950	7,940	0	0	0	7,940	0.85	0.00	0.00
23決算	2,373	3,740	6,113	0	0	0	6,113	0.15	0.00	0.00
24当初予算	70,000	7,650	77,650	0	70,000	0	7,650	0.00	0.00	1.00

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
							委託料
備品購入費	電話設備の購入	325					
合計		2,373		合計		70,000	

整理番号	0130001000-024	事務事業名	文化博物館施設整備事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。 					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	市民が利用するに際しては、施設・設備の安全性が確保されていなければならない、施設設置者として効率的に改修・更新していくことは不可欠である。			
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度の屋外サインの設置では、建物の南面に屋外サインを設置することにより、日中もわかりやすくなり、市民サービスの向上に役立った。 平成23年度の電話設備購入では、老朽化し部品の調達が困難になっている設備を更新することにより、通信の不具合を解消することができた。 			
	効率性	高い	日常の維持管理に伴う軽微な修繕は、指定管理者が実施している。一方、中長期的な計画に基づく大規模な施設・設備の改修については、設置者である市が、市の契約入札制度に基づき実施しており、効率的な施設の維持管理と経費の縮減を図っている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性、有効性ともに高く、施設・設備の安全性及び機能性を確保し、市民に良好な文化芸術の鑑賞機会の提供や活動を行う場の充実のためには当事業は現在の規模を維持する必要がある。			
	手法の改善	維持	今後も引き続き、施設・設備の中長期的な計画に基づき改修・更新を効率的に行っていく。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
<ul style="list-style-type: none"> 文化博物館の施設整備に関しては、指定管理者制度による管理・運営について今後も検証しながら、施設・設備の安全で効率的な改修・更新を進めていく。 開館から20年以上が経過し、建物の老朽化に対する中長期的な計画に基づき改修・更新を行っていく。 常設展示室のリニューアルについて検討していく必要がある。 						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		市民会館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 025		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5608				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度		
	目	市民会館費	根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市				
施策分野		2 教育・文化分野	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理				
		2-4 文化芸術の振興						
個別計画		文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール(以下、「市民会館等」という。)					
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。					

事業内容	事業の目的のために、貸館業務、自主事業、施設維持管理業務、その他の業務を行う。						
	指定管理者による貸館事業の実施 平成22年度 市民会館(1,632件、稼働率45.0%、利用者数233,993人) 西部市民会館(719件、稼働率57.9%、利用者数64,011人) 中崎公会堂(894件、稼働率55.9%、利用者数25,063人) 市民ホール(347件、稼働率43.8%、利用者数19,969人) 平成23年度 市民会館(1,882件、稼働率52.5%、利用者数245,788人) 西部市民会館(721件、稼働率53.6%、利用者数65,558人) 中崎公会堂(988件、稼働率59.9%、利用者数25,209人) 市民ホール(372件、稼働率48.1%、利用者数23,425人)						
	指定管理者による自主事業の実施 平成22年度 30公演50ステージ開催 観覧者数34,975人 平成23年度 27公演44ステージ開催 観覧者数34,908人 平成24年度計画 28公演52ステージ						
	指定管理者による施設維持管理業務の実施 平成22年度 修繕51件(市民会館 28件、西部市民会館 17件、中崎公会堂 6件) 平成23年度 修繕42件(市民会館 28件、西部市民会館 9件、中崎公会堂 4件、市民ホール 1件)						
その他の業務 平成22年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(384人17団体)、第九合唱団(207人)の育成等の実施 平成23年度 広報紙「しおさい」の発行 84,000部、友の会(389人15団体)、第九合唱団(193人)の育成等の実施							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	その他	
22決算	164,189	10,200	174,389	0	0	1,122	173,267	正規	1.05	パート	0.00
23決算	162,117	9,690	171,807	0	0	1,135	170,672	再任用	0.70	その他	0.00
24当初予算	165,200	11,200	176,400	0	0	960	175,440	任期付	0.00	合計	1.75

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費		指定管理者選定委員会の委員謝礼		160	委託料	
旅費		指定管理者選定委員会の委員旅費	5				
需用費		指定管理者選定委員会の開催に伴う消耗品費	11				
委託料		指定管理料	161,924				
使用料及び賃借料		指定管理者選定委員会の開催に伴う会場使用料	17				
	合計		162,117		合計		165,200

整理番号	0130001000-025	事務事業名	市民会館運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。	人	343,036	359,980	340,000
	自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	人	34,975	34,908	27,000
	指標で表せない成果 ・平成23年度、明石の将来の文化、芸術を担う市内22小学校6年生対象に劇団四季「こころの劇場」へ無料招待し、質の高い芸術鑑賞の機会を提供できたことや、一般市民対象の第九演奏会や舞台技術講座の開催など、市民参加育成事業を実施した。また、市民会館開館40周年記念事業として大型公演の開催や、中崎公会堂100周年記念シンポジウムなどを開催した。					
事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明			
	必要性	高い	・明石市立市民会館条例、明石市立西部市民会館条例、明石市立公会堂条例、明石市立市民ホール条例、第5次長期総合計画及び明石文化芸術創生基本計画に基づき、市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、事業を実施していく必要がある。			
	有効性	高い	・指定管理者制度を導入することにより、利用者ニーズに合わせた開館時間や使用申込の柔軟な運用を行うなど、市民サービスの向上が図られている。 ・自主事業は、大型公演を多く企画し、市民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供できている。 ・貸館としての施設利用状況では、日ごろの練習の場やその成果の発表の場の提供について役割を果たしている。			
	効率性	高い	・指定管理者制度の導入により、民間活力の活用や経費の縮減が図られている。 ・指定管理者から日、月、四半期、年度の報告を受け、市と指定管理者が定期及び随時の協議の場を持ち、市が指導、監督を行うことで、より適正な管理・運営を行っている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	・市として、質の高い文化・芸術の鑑賞及び参加・発表の場を積極的に提供していくことは必要である。 ・指定管理者制度の導入により民間活力を活かした市民参加・育成型事業を展開していることもあり、必要性・有効性とも高い当事業は現状どおりの規模で継続する必要がある。			
	手法の改善	維持	・指定管理者制度を導入して2期目6年が経過し、一定の効果が上げられている。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止 今後の事業展開方針 ・市民会館の運営に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証していきながら、市民サービスの向上や質の高い芸術鑑賞の機会の提供、市民参加・育成型事業の実施に努めていく。					

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化財保護調査・啓発事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 026	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	教育費	連絡先	(078)918-5629			
	項	社会教育費	自治/法定	自治+法定	開始年度	不明	
	目	社会教育総務費	根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例・明石市文化財保護条例施行規則・明石市文化財審議会規則			
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画		あかし教育プラン					

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市内の文化財を保護するとともに、文化財啓発事業を推進することにより、市民の文化財に対する理解を深める。

事業内容	1 文化財審議会の開催	明石市内に所在する文化財のうち、特に貴重な資料等については明石市指定文化財に指定し保護にあつている。この文化財を指定し保護することについて、教育委員会の諮問に応じ調査審議のうえ答申するのが文化財審議会の役割である。審議会は日本美術史・日本経済史・考古学・民俗学等幅広い見識をもった委員5名で構成されており、文化財保護に対する貴重な意見を聴取するため、3回開催する。
	2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施	古墳・窯跡等文化財を包蔵する土地を埋蔵文化財包蔵地といい、市内には現在220箇所のにのぼる包蔵地がある。そのうち明石市が所有する魚住町金ヶ崎古墳、幣塚古墳、大久保町高丘古窯跡群については、樹木の根による侵食で地下遺構が破壊されることを防ぐため、除草作業を実施する。
	3 市指定文化財保護に対する補助	市内には国指定文化財が6件、県指定文化財が13件、市指定文化財が34件の合わせて53件の指定文化財がある。そのうち明石市指定無形文化財5件の保存団体については、年額40000円を補助し、文化財の保護にあたる。
	4 「発掘された明石の歴史展」の開催	市内で実施した発掘調査の成果を広く周知するため、明石市立文化博物館において毎年テーマを変え「発掘された明石の歴史展」を開催している。平成24年度は20回目にあたり、テーマは「明石の古墳」とし、市内並びに近隣各市から出土した古墳時代後期の土器や石製品等の遺物を展示し、その時代の様子を紹介する。また関連イベントとしてバスツアー、記念講演会・シンポジウムを実施する。
	5 地域文化財の普及活用事業	昨年度に引き続き、市内各所に点在する文化財（建物・石造品・史跡・まつり等）の状況調査を市内のボランティア団体とともにに行い、地区内の文化財の所在や概要を記したマップ（市中部版）を作成するとともに、作成した地図の普及を図るための見学会や講座を実施する。
	6 出前講座の実施	コミセンや高齢者大学において、明石市内にある文化財を知ってもらい、それらを大切に保護し継承していかうとする意識を高めてもらうため、文化財保護事業の概要と各地域の歴史及び伝統文化を紹介する「明石の文化財」と題した出前講座を適宜開催する。
	7 明石藩家老関連史料調査・修復・展示業務委託	明石藩の家老を務めていた黒田家の子孫より寄贈を受けた鎧や兜、槍をはじめ古文書、陶磁器類等の調査・修復および速報展示会開催業務を委託する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	4,773	10,530	15,303	0	0	0	15,303	0.70	0.00	0.00
23決算	6,302	10,485	16,787	0	0	0	16,787	0.00	0.00	0.00
24当初予算	7,807	7,960	15,767	0	0	150	15,617	0.80	0.00	1.50

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	「発掘された明石の歴史展」等講演謝礼	105	報償費	「発掘された明石の歴史展」等講演会謝礼	112
旅費	近接地旅費等	55	旅費	地域文化財普及活用事業に伴う講師招聘旅費	66
需用費	文化財マップ印刷費用等	979	需用費	地域文化財マップ付冊子印刷製本 文化財保護調査用消耗品	615
役務費	企画展啓発用ポスター・チラシ発送料	222	役務費	企画展啓発用ポスター・チラシ発送料	224
委託料	「発掘された明石の歴史展」開催、明石藩関連資料調査委託	4,168	委託料	「発掘された明石の歴史展」開催、明石藩関連資料調査・修復	6,000
その他		773	その他		790
合計		6,302	合計		7,807

整理番号	0130001000-026	事務事業名	文化財保護調査・啓発事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	企画展「発掘された明石の歴史展」の入館者数	市内で出土した埋蔵文化財の公開に訪れた来館者の数により市民の文化財に対する関心度を図る指標とする。	人	2257	2500	2,500
	出前講座「市内の文化財について」の実施回数	市内団体等の要請により行った出前講座の件数により文化財啓発活動の量を示す指標とする。	回 (人)	6 (約200人)	8 (約250人)	10 (約300人)
	指標で表せない成果					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	国民の財産である文化財の保護・啓発のために必要な措置を講じ、市民の文化的向上及び郷土文化の理解促進に貢献することは、当該事業の根拠法令である文化財保護法及び明石市文化財保護条例の理念に基づく行政の責務であり、今後これらを活用し、個性豊かなまちづくりに寄与していく上でも極めて必要性が高い。			
	有効性	高い	市指定文化財の保護団体等に対する補助金の交付、また市内で発掘された埋蔵文化財を年一回文化博物館での展示公開、さらに市内の文化遺産の所在といわれを記したマップ作成など、広く市民に文化財に親しみをもってもらい、愛護意識を高めていくことに一定の成果を上げている。			
	効率性	高い	企画展の開催や包蔵地除草などについては専門的知識・技能を有する機関・業者に委託を行い、人件費用の削減に努めている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	市民文化・生活様式の変化に伴い、ともすれば長年にわたって受け継がれてきた伝統文化も廃絶する恐れが生じている。文化財の保護・啓発事業は、文化財保護法及びそれに基づく条例等に基づき行われており、市民文化の向上、地域の活性化の重要な要素となるものであり、行政が主体となり行うべき事業である。したがって、現在の事業規模を維持する必要がある。			
	手法の改善	維持	展示や出前講座を通して、文化財保護の重要性を訴えることにより、市民自らもその保護・啓発活動に協働して関わっていただくことができ、事業の維持に必要なと思われる最小限の財源で一定の効果を挙げている。また企画展の開催やマップ作成にあたっては他市町との連携や市民ボランティアとの協働により経費を軽減していることなどから、現状の手法を維持する必要がある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
地域にある文化財を保護・啓発することは、歴史を活用した地域づくりを進め、それを担う地域住民を育てることができることから、今後もこの事業を積極的に推進することにより、より一層の地域づくり・人づくりに寄与する必要がある。長期的な視野から未来を担う小・中学生にも興味をもってもらうよう、作成した文化財マップを活用した体験学習や出前講座等の機会を増やし、郷土の文化への理解・愛着を醸成する。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

整理番号	0130001000-027	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	<p style="text-align: center;">指標で表せない成果</p> <p>開発行為によって破壊される埋蔵文化財について、確認調査のデータに基づき、開発業者へ設計変更等を指示するなど、埋蔵文化財の保存に向けたきめの細かい協議を行うことができています。</p>					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	埋蔵文化財の保護のため、地下に埋蔵されている文化財の概要を確認調査により把握しておくことは、今後の開発事業による協議を円滑に進めていく上でも必要性は高い。また個人住宅建設の場合においては、個人に調査費用を求めることが困難なことから市が費用を負担する必要がある。			
	有効性	高い	開発行為の事前に行う試掘調査・確認調査を行政が行うことにより、当該開発行為によって埋蔵文化財が破壊されるかどうかを判断し、破壊される場合には設計変更等を指導して埋蔵文化財の保護を図り、やむなく破壊される場合は事前のデータに基づき事業者側に必要最小限の負担で済むよう、行政が発掘調査に伴う高度な知識をもって対応しており、埋蔵文化財保護に十分貢献している。			
	効率性	高い	開発行為の動向を見据えながら遺跡の範囲確認調査を行い、緊急発掘調査に至った際に効率的に実施できるよう事前データの蓄積に努めている。また、事業実施にあたり一般競争入札を導入して、効率よい運用を図っている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	埋蔵文化財の発掘調査は、開発事業の多寡に左右されるところが多いが、埋蔵文化財の保護のための必要最小限の措置であり、開発事業との円滑な調整を図るためにも、事業規模を維持させつつ行政が主体となって行う必要がある。			
	手法の改善	維持	発掘調査にあたっては、一般競争入札の導入によりコストを最大限カットするとともに、発掘調査も効率的・効果的に行うなど、引き続き現行の手法で対応していく。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
埋蔵文化財の発掘調査は、開発により破壊される資料を記録保存するための次善の策であり、その成果は地域の歴史や文化の解明につながるもので、それらを後世に適切に引き継いでいくためにも必要不可欠なものである。今後より一層、発掘調査の成果を展示や説明会等で市民に還元しつつ事業を進めていく必要がある。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 028	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	教育費		連絡先	(078)918-5629			
	項	社会教育費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	目	社会教育総務費		根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
	2-4 文化芸術の振興							
個別計画	あかし教育プラン							

事業の目的	対象(誰を・何を)	市内に所在する埋蔵文化財	
	意図(どういう状態にしたいのか)	周知の埋蔵文化財包蔵地内の開発に先立ち、事前に発掘調査を行うことにより、資料の適切な保存を図り、地域の歴史・文化の向上に役立てる。	

事業内容	1 調査の概要	明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、事業を行う。 なお、調査作業については民間の発掘調査専門業者に委託する。調査件数については、22年度7件、23年度7件あり、明石城武家屋敷跡関連が全体の8割を占めている。	
	2 調査方法	事前に行った試掘調査・確認調査の結果、開発行為により埋蔵文化財が損壊を受ける範囲について、機械により遺構面まで掘削し、その後人力により遺構の検出、掘削を行い、遺構・遺物の出土状況の写真撮影・図化作業を行い記録化する。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	5,223	5,310	10,533	0	0	7,185	3,348	0.30	0.00	0.00
23決算	4,328	6,095	10,423	0	0	0	10,423	0.00	0.00	0.00
24当初予算	60,300	5,380	65,680	0	0	64,521	1,159	1.10	1.10	1.40

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
							23
	委託料	発掘調査業務委託料	4,015		委託料	埋蔵文化財発掘業務委託	60,000
合計		4,328		合計		60,300	

整理番号	0130001000-028	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	<p align="center">指標で表せない成果</p> <p>受託事業としてではなく、開発事業を円滑に進めるため、市と事業者と事業者が選定した発掘調査を行う業者との3者協定を行い調査を行った事例があり、その際にも発掘調査に要する費用の7パーセントを管理費として市に納入させている。 また、発掘調査により出土した遺物・遺構について、記者発表や地元住民向け現地説明会を行い、広く市民に地域の埋蔵文化財を広報することができた。</p>					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	・発掘調査は、開発事業の円滑な調整を図りながら、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行うものであり、地域の歴史や文化を語る上でも核となるものであり、それを将来にわたって継承させていくためにも必要不可欠なものである。			
	有効性	高い	・一度、開発等で破壊されると二度と復元ができない埋蔵文化財を記録保存することにより、貴重な情報を後世に伝えるための意義は大きい。			
	効率性	高い	・発掘調査業務について、発掘作業を専門的な知識を有する業者に委託することにより、コスト削減と作業の効率化を図るとともに、開発事業者の負担を軽減し、円滑な事業実施に努めている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	当該事業は開発行為の多寡によって事業規模が大きく左右されるが、文化財保護の観点からも現状の事業規模を維持する必要がある。			
	手法の改善	維持	開発行為(個人住宅建築を除く)によって行われる発掘調査については、開発事業者側が調査費用負担を行うことから、調査経費・調査期間を短縮させるべく、事業者との十分な協議を行いつつ行っているところであり、引き続き円滑な進行を努めていく。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
<p align="center">今後の事業展開方針</p> <p>・開発行為により埋蔵文化財が損壊を受けると判断された場合、次善の策として発掘調査を行い、記録として保存していくことは、文化財保護法に定められた事業であり、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業でもあり、市の歴史や文化を継承・発展させていくためにも必要不可欠のものである。 ・今後とも開発業者とより緊密に連絡調整を行い、費用・調査期間の縮減を図りながら、埋蔵文化財に関する記録を必要十分な形で後世に伝えていくための方策を検討する必要がある。</p>						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		埋蔵文化財出土資料整理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 029		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	教育費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	社会教育費	連絡先	(078)918-5629				
	目	社会教育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	埋蔵文化財出土資料整理事業	根拠法令 ・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例				
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画		あかし教育プラン						

事業の 目的	対象（誰を・何を）	埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物
	意図（どういう状態にしたいのか）	市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した資料の整理を行い、資料の長期保存と、調査結果を公開することにより、市民に成果を還元し、郷土の歴史・文化財への理解を深め、次世代へ継承していくよう保護意識の啓発を目的とする。

事業 内容	1 整理作業及び年報の発行等 市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した土器、陶磁器、木器、漆器などの資料の中から重要な資料の実測、トレース、写真撮影を行い、発掘調査の成果を報告書・展示等で公開する。 平成24年度は市内で行われた8箇所の埋蔵文化財発掘調査現場から出土した遺物を整理し、年報を発行する。
	2 保存処理業務 出土資料のうち、木器、金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者へ委託し、資料の適切な保存に努める。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	6,158	8,100	14,258	0	0	0	14,258	0.40	7人	0.00
23決算	2,298	12,950	15,248	0	0	0	15,248	0.00	0人	0.00
24当初予算	2,380	13,760	16,140	0	0	0	16,140	4.00	合計	4.40

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	近接地旅費	3	旅費	資料調査旅費等	85	
需用費	出土資料整理用消耗品・調査報告書作成費用	695	需用費	出土資料整理用消耗品 調査報告書作成費	750	
委託料	埋蔵文化財出土資料保存処理業務委託等	1,257	委託料	埋蔵文化財出土資料保存処理委託	1,500	
備品購入費	記録写真撮影用カメラ	298				
合計		2,298	合計		2,380	

整理番号	0130001000-029	事務事業名	埋蔵文化財出土資料整理事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
調査成果の公開により、市民の歴史文化に対する理解を促進させることができ、文化財を通して郷土に対する愛着を深めることができる。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	埋蔵文化財出土資料は、地域の歴史・文化を知るうえで欠かすことのできないものであり、市の貴重な財産である文化財を広く周知するための出土資料整理事業を行う必要性は高い。			
	有効性	高い	出土資料を整理し、その成果を展示や報告書にて一般に公開することは、市民に郷土に対する理解と愛着を深めさせていく上できわめて有効である。また、教育現場においても活用することができ、次世代を担う子どもたちにも郷土を知るよいきっかけになるもので、その有効性は高い。			
	効率性	高い	専門的知識を持った人物に整理事業を行わせることにより、作業効率の向上が認められる。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	市内で行った埋蔵文化財発掘調査の成果を、報告書の発行や展示等により公開していくことは、郷土を理解し、郷土愛を育み、地域の活性化にもつながる事業であり引き続き維持していく必要がある。			
	手法の改善	維持	昨年度より、作業を委託していた業務の大半を任期付職員に置き換え、恒常的かつ効率的な整理を行うとともに、写真撮影等を外部に委託することにより一段と効果を図る。			
事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針						
市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護・活用するために行う文化財保護法に定められた事業であり、市の歴史や文化を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。そのため、貴重な埋蔵文化財資料を劣化から守り、長期的に活用していくためにも、迅速かつ正確な資料整理が必要であり、整理が終わったものから順次市民に広く公開していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		埋蔵文化財収蔵資料整理(緊急雇用)事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 030	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	款	教育費		連絡先	(078)918-5629			
	項	社会教育費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度	
	目	社会教育総務費		根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例、兵庫県緊急雇用就業機会創出基金補助事業実施要領			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
	2-4 文化芸術の振興							
個別計画	あかし教育プラン							

事業の 目的	対象(誰を・何を)		市内より出土した埋蔵文化財資料	
	意図(どういう状態にしたいのか)		出土資料は地域の歴史を語る上で将来にわたって保存し、活用されるものであることから、広く市民が利用しやすくするため、整理・データベース化を行い、埋蔵文化財収蔵施設としての体裁を整える	

事業 内容	1 資料整理作業の内容		(1)コンテナボックスの並べ替え(現場・出土土層ごとに)		
			(2)現場・出土土層識別ラベルの作成・添付		
		(3)未注記遺物の注記作業		(4)遺物片の接合作業	
		(5)データベース作成作業		2 作業場所	
		高齢者大学あかねが丘学園内等			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
22決算	163	7,430	7,593	7,593	0	0	0	0	0.30	7.70	8.00
23決算	453	7,430	7,883	0	0	0	7,883	再任用	0.00	0.00	0.00
24当初予算	680	16,920	17,600	15,450	0	0	2,150	任期付	0.00	8.30	8.30

23年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	24年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		需用費	注記・接合作業用消耗品		169		需用費
	役務費	文化財資料運搬費	284		役務費	埋蔵文化財収蔵資料運搬業務	300
					備品購入費	人員増に伴う更衣ロッカー・キャビネット及びプリンター購入費用	190
	合計		453		合計		680

整理番号	0130001000-030	事務事業名	埋蔵文化財収蔵資料整理(緊急雇用)事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	整理済みの出土資料のコンテナ	市民に還元できる整理を経てデータ化された出土資料のコンテナ数を指標とする。	箱	500	1,200	1,800
	指標で表せない成果					
	市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した資料の整理を行い、調査結果を公開することにより、市民に成果を還元し、郷土の歴史・文化財への理解を深め、次世代へ継承していくよう保護意識の啓発を目的とする。					
事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	出土資料整理事業によって、出土資料のうち、重要度が高いものについては、文化博物館において整理・修復・保管を行っているところであるが、その他の資料については今までほとんど整理がされておらず、市民の活用の便に供していなかった。市民共通の財産としての埋蔵文化財の普及・活用の観点からも当事業の必要性は高い。			
	有効性	高い	年々増加する埋蔵文化財出土資料も保管しているだけでなく、整理を経た上で、市民に展示公開等で活用してもらえるよう条件を整備することは将来に適切に継承していく上でも有効である。			
	効率性	高い	埋蔵文化財の発掘調査は継続的に行われており、整理事業に手慣れた人材の確保を図りつつ速やかにその成果を公開・展示していくことはきわめて効率的である。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	約2年半にわたる事業展開の結果、これまで手付かずであった埋蔵文化財出土資料が全体の半数近く整理でき、展示や調査閲覧、他博物館への貸出し、出前講座での利用等に供することができた。今年度末をもって国庫補助制度が終了するが、発掘調査の増加により出土した埋蔵文化財も増加の一途をたどっていることから、現在の事業を引き続き継続して実施することが望ましい。			
	手法の改善	維持	最小限の経費で効率よく作業を行っており、引き続き整理事業に手慣れた人材の確保を図りつつ、効率を高める必要がある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
現在、24,000箱に及ぶ埋蔵文化財出土資料のうち、約2/3にあたる資料についてはデータ化整理を行い、展示公開や閲覧等を通して市民が利用するうえで必要最低限の条件整備は図っていったところであるが、年間平均約800箱を数える出土資料は増加の一途をたどっており、継続的な資料整理を推進していくとともに、新たな収蔵場所の確保を含め、同事業の展開を考慮していく必要がある。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

整理番号	0130001000-031	事務事業名	明石市青少年派遣事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	青少年親善訪米団への応募人数	事業への理解が深まり評価が高まることにより、応募人数が増えると考えられる。	人	18人	11人	
	指標で表せない成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解を深める。 ・将来の明石市の国際交流を担うことのできる人材の育成を図る。 						
事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明			
	必要性		平成23年度限りで休廃止			
	有効性					
	効率性					
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明			
	事業の規模		平成23年度限りで休廃止			
	手法の改善					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
今後の事業展開方針						
平成23年度限りで休廃止						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		友好都市提携30周年記念事業	新規/継続	H23休廃止	整理番号	0130001000 - 032		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度		
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等					
	事業	友好都市交流事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
施策分野	4 生活・環境分野 4-6 都市間交流・国際交流の推進							
個別計画								

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	友好都市提携30周年の節目の年に代表団を相互派遣するとともに、両市で青少年を中心とした記念事業を開催して市民交流の促進に努め、両市市民の相互理解や友好、親善を深める。

事業内容	<平成23年度> (新規事業)
	1) 無錫市での記念事業(実施時期:平成23年8月下旬) ・明石市、明石市議会の代表団訪中、無錫市長や無錫市人民代表大会主任(市議会議長)との会見式や記念祝賀会への出席 ・明石市中学生吹奏楽交流団訪中 メンバー:市内中学校の吹奏楽部から選抜された約60人、引率教師約20人 主な内容:無錫市内ホールでの記念演奏会 無錫市内のオープンスペースでの演奏披露 天華芸術学校生徒との音楽交流 など 2) 明石市での記念事業(実施時期:平成23年10月下旬～11月上旬) ・無錫市代表団の招請、記念祝賀会の開催 ・無錫市青少年駅伝交流団の来明 メンバー:無錫市中高生駅伝チーム2～3チーム、合計20人前後 主な内容: 広く市民から公募した約100チームと、無錫市から招請した中高生チームによる交流駅伝大会を明石公園で開催 日本文化の体験や交流イベントに参加し、市民との交流を深める <平成24年度> 廃止

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	0	0	0	0	0	0	0	再任用		
23決算	12,337	9,350	21,687	0	0	0	21,687	任期付		合計
24当初予算										

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	訪中旅費	331				
需用費	消耗品等	51				
役務費	文書翻訳料	81				
委託料	友好都市提携30周年記念事業委託	11,549				
合計		12,337		合計		

整理番号	0130001000-032	事務事業名	友好都市提携30周年記念事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	<p style="text-align: center;">指標で表せない成果</p> <p>友好都市提携30周年の節目の年に相互派遣した友好交流団はもちろん、両市での青少年を中心とした記念事業の開催により市民交流が進み、両市市民の相互理解や友好、親善を深まっている。</p>					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性		平成23年度限りで休廃止			
	有効性					
効率性						
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模		平成23年度限りで休廃止			
	手法の改善					
<p>事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止</p> <p style="text-align: center;">今後の事業展開方針</p> <p style="text-align: center;">平成23年度限りで休廃止</p>						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		サハ高等音楽院青少年派遣事業	新規/継続	H23休廃止	整理番号	0130001000 - 033	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	事業	国際交流事業	根拠法令 ・要綱等	音楽を通じた連携協力の覚書			
施策分野		4 生活・環境分野 4-6 都市間交流・国際交流の推進	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他
個別計画					<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	

事業の 目的	対象（誰を・何を）	明石市内在住・在学等の高校生以下の青少年
	意図（どういう状態にしたいのか）	サハ高等音楽院へ次代を担う青少年を派遣し、専門の指導者からの高いレベルの指導や異文化を直接体験する機会を供することにより、音楽のあふれるまちづくりの一層の推進を図るとともに音楽を通じた国際交流を進める。

事業 内容	<平成22年度> 派遣人数：5人 対象：市内在住、在学等の高校生以下の青少年 時期：平成23年3月27日～4月3日（8日間） 費用負担等：参加する青少年は実費を負担 内容：専門の指導者からの音楽指導、サハ共和国ヤクーツ市内の視察および異文化体験、寮生活等を通じた現地の青少年との交流事業
	<平成23年度> 平成22年度派遣者の帰国にかかる事務手続き等
	<平成24年度> 廃止

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	その他
22決算	0	0	0	0	0	0	0			
23決算	120	510	630	0	0	0	630	再任用		
24当初予算								任期付		合計

23年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	24年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼		111		
	役務費	海外専用携帯電話通話料	9				
	合計		120		合計		

整理番号	0130001000-033	事務事業名	サ八高等音楽院青少年派遣事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	<p style="text-align: center;">指標で表せない成果</p> <p>音楽院で専門の指導者から高いレベルの指導を受けた青少年が、音楽のあふれるまちづくりに向けた活動や音楽を通じた国際交流を進めている。</p>					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性		平成23年度限りで休廃止			
	有効性					
	効率性					
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模		平成23年度限りで休廃止			
	手法の改善					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
今後の事業展開方針						
平成23年度限りで休廃止						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民会館施設整備事業		新規/継続	H23休廃止	整理番号	0130001000 - 034	
			分割/統合				
関連予算科目目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5608			
	目	市民会館費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度	
	事業	市民会館施設整備事業	根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-4 文化芸術の振興						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール(以下「市民会館等」という。)
	意図（どういう状態にしたいのか）	破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。

事業内容	市民会館等の施設・設備の整備	
	<平成22年度> 市民会館外壁タイル調査業務委託 劣化が進行している市民会館外壁タイルの調査を行った。 委託料 719千円 西部市民会館ガス吸収式冷温水機分解整備工事 平成11年の開館以来、分解整備工事を行っていないため、分解整備を行うことにより、不測の緊急停止などを防止するとともに、設備の延命を図った。 工事請負費 3,780千円 <平成23年度> 市民会館外壁改修工事 市民会館の外壁改修工事を行った。 工事請負費 34,741千円	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	4,499	3,950	8,449	0	0	0	8,449			
23決算	34,741	3,740	38,481	0	34,700	0	3,781	再任用		
24当初予算								任期付		合計

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		工事請負費	市民会館外壁改修工事		34,741		
	合計		34,741		合計		

整理番号	0130001000-034	事務事業名	市民会館施設整備事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や管繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。 ・平成23年度は、市民会館外壁改修工事を行うことにより、安全性の向上及び建物の劣化防止を図ることができた。 						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性		平成23年度限りで休廃止
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模		平成23年度限りで休廃止
	手法の改善		
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止
今後の事業展開方針			
平成23年度限りで休廃止			

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		広域連携スポーツ振興事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 001		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5624				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 16 年度		
	目	企画費	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
施策分野		2 教育・文化分野	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
		2-3 スポーツの振興						
個別計画		スポーツ振興計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、野球関係団体、サッカー関係団体					
	意図（どういう状態にしたいのか）	野球・サッカー等のイベントを通じて、市民にスポーツのすばらしさを実感してもらうことにより、スポーツ振興と賑わいあるまちづくりを推進する。					

事業内容	<p>サッカーを通じたまちの賑わいづくりとしてヴィッセル神戸と連携し、以下の事業を実施する。</p> <p>特別観戦会(600人) H22実績 600人 H23実績 600人 小学校訪問(1校) H22実績 1校 H23実績 1校 少年サッカークリニック(1日) H22実績 1日 H23実績 1日 小学校巡回指導(3校) H22実績 3校 H23実績 3校 親子サッカー教室(1回) H22実績 1回 H23実績 1回</p> <p>野球を通じたまちの賑わいづくりとして明石軟式少年野球協会への委託事業による、プロ野球OBの指導を受けることができる「集まれ！野球っ子2012」少年野球教室を8月11日(土)明石トーカロ球場で開催する。H22,H23についても開催。 子どもたちに野球ができる環境を充実させるため、企業グラウンド(JT)の貸し出しを行う。H22から実施。 生涯スポーツ社会の実現を目指して様々なスポーツ振興施策を実施していくために基金を設置する。 基金1,000万円</p>						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	2,395	8,955	11,350	0	0	0	11,350	0.70	0.00	0.00
23決算	2,501	5,360	7,861	0	0	0	7,861	0.00	0.00	0.00
24当初予算	12,490	5,880	18,370	0	0	0	18,370	0.00	0.00	0.70

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品	6		需用費	消耗品費	50
役務費	物損保険料	83		役務費	物損保険料	90
委託料	ヴィッセル神戸への事業委託、 野球教室開催運営委託	2,399		委託料	ヴィッセル神戸への事業委託、 野球教室運営委託	2,340
使用料及び賃借料	施設使用料	13		使用料及び賃借料	施設使用料	10
				積立金	明石市スポーツ振興基金	10,000
合計		2,501		合計		12,490

整理番号	0130001500-001	事務事業名	広域連携スポーツ振興事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
親子で参加できるスポーツイベントやプロの選手と触れ合えるイベントを実施することは、市民の方々に生涯にわたりスポーツに親しむ動機付けとなり、市民スポーツの振興や、まちの賑わいづくりに効果があると考えられる。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	明石市スポーツ振興計画においては、基本方針2に「市民が積極的に関わりスポーツを支えるまち」を掲げており、市民がスポーツ参加する、支援するきっかけづくりとしてトップアスリートによるスポーツイベントの開催・誘致に取り組んでいることから事業の必要性は高いと考えられる。			
	有効性	高い	プロ野球OBやプロサッカー選手に直接出会い、指導や助言してもらうことは子どもたちにとって得難い体験となり、将来にわたってスポーツを続けようとするよいきっかけとなることから本事業の有効性は高いと考えられる。			
	効率性	高い	トップアスリートと身近に触れ合うとともに、直接指導を受けることは非常に得難い体験であり、効率性は非常に高いと考えられる。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	これまでの取り組みによって、プロ野球OB会やヴィッセル神戸との協力関係が良好に機能していると考えられるので、今後も関係を維持しながら市民に対するスポーツをする、観る機会を提供していくこととする。			
	手法の改善	維持	現在の手法で事業を継続することが妥当であるとする。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
今後もプロ野球OB会やヴィッセル神戸との協力関係を維持しながら、本市におけるスポーツや運動をする人々のすそ野の拡大に努め、市民にスポーツに親しむ機会を提供する。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		(仮称)第1回明石市民リレーマラソン大会	新規/継続	H24新規	整理番号	0130001500 - 002	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5624			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画			
事業	文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
施策分野	2 教育・文化分野						
	2-3 スポーツの振興						
個別計画	スポーツ振興計画						

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民
	意図(どういう状態にしたいのか)	スポーツを通じた世代間交流や地域での交流を深めるとともに地域を超えた交流を図る。

事業内容	<平成24年度>
	講師に北京オリンピックメダリスト朝原宣治氏を迎えて、走ることの楽しさを広く市民にPRするイベントを12月1日(土) 県立明石公園陸上競技場及び周辺で開催予定。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳			24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	0	0	0	0	0	0	0	0.50	0.00	0.00
23決算	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
24当初予算	5,180	4,200	9,380	0	0	0	9,380	0.00	0.00	0.50

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
					旅費	出演者打ち合わせ旅費	60
					需用費	チラシ・プログラム印刷代	50
					役務費	(プレイベント)舞台人件費	20
					委託料	リレーマラソン大会開催委託	5,000
					使用料及び賃借料	(プレイベント)ホール使用料	50
	合計		0		合計		5,180

整理番号	0130001500-002	事務事業名	(仮称)第1回明石市民リレーマラソン大会			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
	イベントに参加することで、スポーツをする、スポーツを続けようとする市民のきっかけづくり、動機付けができる。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	市内でトップアスリートの直接指導や助言を得る機会が増えれば、本市においてスポーツをしてみよう、スポーツを続けてみようとの思いになる市民が増加すると考えられることから「スポーツ振興計画」の着実な実行のためには必要な事業である。			
	有効性	やや高い	メダリストを招くことにより、興味のある市民にはPR効果があると考ええる。			
	効率性	やや高い	トップアスリートからの直接指導や助言は、市民のみならず指導者に対しても影響があると考えられることから、スポーツをする市民のすそ野の拡大には効果的である。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	費用対効果を考慮すると同規模程度の内容になると考えられる。			
	手法の改善	維持	平成24年度新規事業であるため、基本的な手法は次年度に継承するが、平成24年度の結果を踏まえての改善等は生じるものとする。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
今後も、市民に対してトップアスリートとのふれあいや直接指導を受けられる機会を提供し、運動やスポーツをする人のすそ野の拡大に努める。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	社会体育一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 003	
			分割/統合	事業の統合			
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容	「学校保健一般事務事業」の一部を統合			
	款	教育費	事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	項	保健体育費	連絡先	(078)918-5624			
	目	保健体育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	社会体育一般事務事業	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-3 スポーツの振興						
個別計画	スポーツ振興計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	すべての市民が、健康で明るく豊かな社会生活を営むために、スポーツに親しむとともに、競技力の向上にも結びついていくよう幅広くスポーツを振興する。

事業内容	1 明石市総合体育大会・スポーツ大会開催 明石市体育協会への委託として明石市総合体育大会と各種目大会を開催している。 開催種目及び参加人数 H22実績 21種目39,653人 H23実績 23種目40,015人 H24見込 22種目40,000人
	2 スポーツ教室開催 明石市体育協会加盟団体による市民向けのスポーツ教室をコミセンなどで開催している。 開催種目及び教室数 H22実績 16種目41教室 H23実績 16種目43教室 H24 16種目43教室を開催予定
	3 スポーツ指導者養成研修会・講習会開催 明石市体育協会加盟団体においてはそれぞれの種目の研修会を開催している。また、スポーツ賞表彰式にあわせて市全体の研修会を開催している。 各種目別講習会・研修会及び参加人数 H22実績 20種目1,400人 H23実績 20種目1,410人 平成24年度も同程度を見込む 明石市スポーツ指導者研修会 平成24年1月21日(土) 明石市民会館中ホール 講師:小鴨由水氏(バルセロナオリンピック女子マラソン日本代表)を招いて開催した。 平成24年度は、平成25年2月17日(日) 子午線ホール 講師:大八木淳史氏(元ラグビー日本代表、現芦屋大学客員教授)を招いて開催予定。
	4 スポーツ賞表彰の開催 表彰人数 H22 127人 H23 191人 平成24年度も同程度を見込む 「学校保健一般事務事業」の一部を統合したため、需用費150千円の増となっている。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/2	アルバイト	その他
22決算	5,214	4,751	9,965	0	0	0	9,965	正規	1.00	1/2	0.00
23決算	5,273	7,360	12,633	0	0	0	12,633	再任用	0.00	その他	0.00
24当初予算	5,712	8,400	14,112	0	0	0	14,112	任期付	0.00	合計	1.00

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	スポーツ指導者研修会講師謝礼 各種スポーツ大会審判謝礼	276	報償費	スポーツ指導者研修会講師謝礼 各種スポーツ競技大会審判等謝礼	314
旅費	職員旅費	95	旅費	職員旅費	133
需用費	スポーツ賞表彰式等にかかる消耗品・印刷製本費、公用車燃料費等	1,092	需用費	スポーツ賞表彰式等に係る消耗品・印刷製本費、公用車燃料費等	1,293
委託料	市民スポーツ大会開催事業委託	3,610	役務費	クリーニング代	10
使用料及び賃借料	スポーツ賞表彰式・スポーツ競技大会等に係る会場使用料、バス借上	200	委託料	市民スポーツ大会開催事業委託	3,610
			使用料及び賃借料	スポーツ賞表彰式・スポーツ競技大会等に係る会場使用料、バス借上料	352
合計		5,273	合計		5,712

整理番号	0130001500-003	事務事業名	社会体育一般事務事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	明石市総合体育大会等の参加者数	スポーツをする人の底辺の拡大につながることで、スポーツの振興が図られる。	人	39,653	40,015	40,000
	指標で表せない成果					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	国、独立行政法人、地方公共団体、学校、スポーツ団体及び民間事業所など、スポーツに関する多様な主体が連携・協働して、スポーツの推進に取り組んでいくことが、幸福で豊かな生活を営むことができる社会の実現のためにも重要であると、国の「スポーツ基本計画」に記載されていることから、本市においても積極的に取り組んでいくことが必要であり、必要性は高いものと考えられる。			
	有効性	やや高い	各種のスポーツ大会や教室を開催することで、多様化するニーズに応じるとともに、スポーツをする人のすそ野の拡大には有効であると考えられる。			
	効率性	やや高い	明石市体育協会に委託することで、他種目の大会や教室が開催できることになり、より多くの市民が参加することができることから効率的であると考えられる。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性・有効性・効率性ととも高い事業であるので、現在の規模を維持する。			
	手法の改善	維持	今後も明石市体育協会との連携を図りながら、効果的な運用に努める。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
国の「スポーツ基本計画」「明石市スポーツ振興計画」に基づき、明石市体育協会との連携に努め、本市の競技スポーツの推進を図る。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯スポーツ推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 004		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	教育費	事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	項	保健体育費	連絡先	(078)918-5624			
	目	保健体育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	生涯スポーツ推進事業	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
	2-3 スポーツの振興			<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画	スポーツ振興計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	自らの健康・体力の維持増進を図れるよう、スポーツをする機会等を提供し、生涯スポーツの推進を図る。

事業内容	1 ニュースポーツ(ショートテニス)講習会開催(年4回) 明石市スポーツ推進委員と連携し、広く市民にスポーツをするきっかけづくりとして開催。H22,H23も年4回実施。
	2 市民ショートテニス大会開催(年1回) 明石市スポーツ推進委員と連携し、講習会に参加した市民に他の地域で活動している方との交流と自主組織づくりのきっかけづくりのために開催。H22、H23も年1回開催。
3	市長杯グランドゴルフ大会開催(年1回) 明石市グラウンド・ゴルフ協会と連携し、市内のグラウンド・ゴルフ愛好家が一堂に会する大会を開催し、各人の交流を図る。H22,H23も年1回開催。
	4 ウォーキング 毎月1回実施 明石市ウォーキング協会への委託事業として実施し、市民が手軽に参加できるウォーキングイベントとして定着してきている。H22,H23も同程度。
5	ジュニア自転車競技教室の開催(年6回) NPO法人への委託事業として実施し、学童期から自転車競技への興味をもってもらうようにすることと、正しい自転車の乗り方や態度を学ぶ。H22,H23も年6回開催。
	6 サイクルスポーツフェスティバル開催(年1回) NPO法人への委託事業として実施し、自転車が好き、エコな乗り物であることを広く市民に知ってもらう。H22,H23も年1回開催。
7	ニュースポーツ用具の貸出(貸出先は自治会やSC21などの地域団体) 上記事業については、継続実施
	8 地域スポーツ・レクリエーション事業支援(SC21が行う事業に対し、スポーツレクリエーションに関する事業について予算の範囲内で助成する) 支援件数 H22 55件 H23 47件
9	関西大学ビーチバレー男女選手権大会を大蔵海岸に誘致(H21、H23、H24)
	10 全国大会等に出場する選手等への激励金支出事業 上記10については、平成24年度からの事業
11	明石市スポーツ振興計画の中期的「行動プログラム」を策定した。(計画年度は平成23年度から平成27年度まで)
	12 小学校の運動場・屋内運動場を開放(委託先:スポーツクラブ21など) (1)体育施設開放:50日 対象校 H22 9校 H23 6校 (2)プール開放:10日以内 対象校 H22 26校 H23 26校 上記については、平成24年度から教育委員会事務局が所管する。このため、委託料3,452千円の減が生じている。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	12,394	4,985	17,379	0	0	0	17,379	1.10	0.50	0.50
23決算	10,417	7,360	17,777	0	0	0	17,777	0.00	0.00	0.00
24当初予算	10,548	10,140	20,688	0	0	0	20,688	0.00	0.00	1.60

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	スポーツ大会審判・看護師、スポーツ教室講師謝礼等	644	報償費	全国大会出場選手への激励金、スポーツ大会審判・看護師、スポーツ教室講師謝礼等	6,855
需用費	スポーツ大会に係る消耗品	484	需用費	スポーツ大会に係る消耗品、スポーツボランティアユニフォーム等	715
委託料	明石市スポーツ振興計画行動プログラム策定業務委託、ウォーキング推進事業委託、小学校体育施設活用事業委託、サイクルスポーツ推進事業委託	7,982	役務費	安全保険料	625
使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料等	936	委託料	ウォーキング推進事業委託、サイクルスポーツ推進事業委託	800
備品購入費		221	使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料等	1,275
負担金補助及び交付金	ビーチバレー男女選手権大会補助金	150	その他	備品購入費、ビーチバレー男女選手権大会補助金ほか	278
合計		10,417	合計		10,548

整理番号	0130001500-004	事務事業名	生涯スポーツ推進事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
	大会や教室に市民が参加することで、健康体力の維持増進が図られている。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	明石市スポーツ振興計画の目標指標である「スポーツの実施率の向上」を図るうえでは必要であると考えられる。			
	有効性	やや高い	市民が手軽に参加できる大会・教室・講習会を開催することにより、運動やスポーツの継続性を高めるとともに運動やスポーツをするきっかけづくりのためには有効であると考えられる。			
	効率性	やや高い	各分野の協会や団体と連携することにより、それらの専門性を活かした機会の提供が図られていることから効率性は高いものであると考えられる。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	明石市スポーツ振興計画の目標指標に関連する事業であるので、現状を維持しつつ、より高い成果が得られるように努めていく。			
	手法の改善	維持	今後とも関係機関との連携を図り、事業運営の効率化を図る。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
今後の事業展開方針						
明石市スポーツ振興計画に基づき、目標指標を達成するために取り組んでいく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		体育指導委員活動事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 005		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課				
	款	教育費	連絡先	(078)918-5624				
	項	保健体育費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 37 年度		
	目	保健体育総務費	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
	2-3 スポーツの振興							
個別計画	スポーツ振興計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	スポーツ基本法第32条に基づき設置されたスポーツ推進委員(旧:体育指導委員)
	意図（どういう状態にしたいのか）	スポーツ推進委員(旧:体育指導委員)が本市におけるスポーツ活動の推進のため、市民に対し、スポーツの実技指導をはじめ、その他のスポーツに関する指導及び助言、さらには地域と行政とのコーディネータとしての活動ができるように支援するとともに、資質の向上に努めてもらうことにより地域でのスポーツ活動の推進を図る。

事業内容	1 スポーツ推進委員(旧:体育指導委員委嘱) 委嘱人数 H22 31名 H23 31名 H24 31名
	2 スポーツ推進委員が自ら担当の地域(小学校区)において行うスポーツイベントを支援する。 3 スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会に参加できるよう支援する。 平成23年度東・北播磨地区体育指導委員研修会:加西市で開催(年1回)14名参加 平成23年度兵庫県体育指導委員中央研究協議会:神戸市で開催(年1回)7名参加 平成23年度生涯スポーツ指導者地区別研修会(東・北播磨地区):加古川市で開催(年1回)8名参加 平成23年度全国スポーツ推進委員研究協議会:東京都で開催(年1回)4名参加 平成23年度近畿スポーツ推進委員研究協議会:大阪府で開催(年1回)9名参加 自主事業として、ショートテニスやスポーツ吹矢、心肺蘇生法の研修を行った。 平成24年度も上記同様の研修を受講する予定。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	3,011	4,751	7,762	0	0	0	7,762	0.70	0.50	0.50
23決算	3,145	7,360	10,505	0	0	0	10,505	0.00	0.00	0.00
24当初予算	3,442	6,780	10,222	0	0	0	10,222	0.00	1.20	1.20

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	スポーツ推進委員報酬	2,285		報酬	スポーツ推進委員報酬	2,381
報償費	ニュースポーツ普及講習会講師謝礼	290	報償費	ニュースポーツ普及講習会講師謝礼	310		
旅費	スポーツ推進委員旅費	232	旅費	スポーツ推進委員旅費	369		
需用費	研究協議会参加に係る資料代、広報紙、ニュースポーツ大会に係る消耗品等	195	需用費	研究協議会参加に係る資料代、広報紙、ニュースポーツ大会に係る消耗品等	200		
負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員委員連絡協議会分担金	93	負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員委員連絡協議会分担金	110		
その他	スポーツ安全保険料、全体会会場使用料	50	その他	スポーツ安全保険料、全体会会場使用料	72		
合計			3,145	合計			3,442

整理番号	0130001500-005	事務事業名	体育指導委員活動事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
スポーツ推進委員(旧:体育指導委員)が、各地域(小学校区)で取り組んでいるニュースポーツ教室などを通して指導助言を行うことでスポーツの振興が図られている。						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	スポーツ基本法に同委員を委嘱することが定められており、市が主体となって行う事業であることから必要性は高い。			
	有効性	高い	同委員の各小学校区への配置により、きめの細かい地域でのスポーツ振興に有効である。			
	効率性	高い	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例に基づいた報酬と旅費を計上していることから効率的である。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	各小学校区1人を基準として、スポーツ基本法に定められた委員を配置し、委嘱している。また、スポーツ基本法に基づき事業を実施することと、されているため現行を維持する。			
	手法の改善	維持	スポーツ基本法に基づき委嘱した委員により事業実施をする必要があり現行を維持する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
「スポーツ基本法」や「スポーツ基本計画」「明石市スポーツ振興計画」においてスポーツ推進委員の役割は重要な位置づけであることから、今後も支援していくこととする。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		コミセン管理運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 001		
			分割/統合	事業の分割				
			事業の分割/統合の内容	機構改革に伴い、中学校区コミセンの管理を市民協働推進室から分割する				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
	目	コミュニティ費	根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則				
事業		コミセン管理運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
施策分野		2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進						
個別計画		生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	地域住民、コミセン利用者 14コミセン(16施設)
	意図（どういう状態にしたいのか）	生涯学習活動に重点を置いた拠点施設として管理運営を行う。

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 各コミセンに職員を配置し、施設の維持管理業務を行う。 利用者や地域に向けてコミセン利用を促進するため、生涯学習活動に重点を置いた拠点施設として管理運営を行う。 主催講座等を行い、地域住民に学習機会の提供を行う。 (主催講座件数) 平成22年度 170件 平成23年度 189件 平成24年度見込 180件

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
22決算	0	0	0	0	0	0	0	0	1.10	0	0.00
23決算	0	0	0	0	0	0	0	0	6.00	0	56.00
24当初予算	27,774		27,774	0	0	3,890	23,884	0	0.50	0	63.60

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
					旅費	コミセン所長・職員近接地旅費	378
					需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	13,769
					役務費	コミセン電話料金等	1,206
					委託料	コミセン運営業務委託(14コミセン)等	7,414
					使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	4,921
					その他	研修講師謝礼、負担金補助及び交付金	86
	合計		0		合計		27,774

整理番号	0130101000-001	事務事業名	コミセン管理運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	コミセン利用件数 (延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した件数を成果指標とする。	件	中コミ 30,954	中コミ 29,484	中コミ 30,000
	コミセン利用人数 (延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した人数を成果指標とする。	人	中コミ 521,974	中コミ 493,364	中コミ 507,000
	指標で表せない成果 身近な場所に気軽に集まることのできる拠点があることにより、生涯学習活動を身近に取り入れる環境が構築されている。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	中学校区コミュニティ・センターを地域に根ざした生涯学習活動の拠点として位置付け、生涯学習の振興を担う。			
	有効性	やや高い	地域に根ざした生涯学習活動の拠点として有効に活用されており、生涯学習活動に大きく寄与している。			
	効率性	やや高い	コミセン運営委員会に事業委託し、地域や市民が協力して事業の実施にあたっており、効率的な手法による事業実施を行っている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	本事業の必要性は高く、有効性もやや高い事業であり、現在の規模を維持していく。			
	手法の改善	軽微な改善	生涯学習センターの所管となったことにより、市全体の生涯学習機関の一つとして連携しながら教室・講座・イベント・講師などの内容の充実を引き続き図っていく。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
中学校区コミュニティ・センターを、市全体の生涯学習施策の総合的推進を図るための一機関として機能させていく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		コミセン施設整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 002		
			分割/統合	事業の分割				
			事業の分割/統合の内容	機構改革に伴い、中学校区コミセンの管理を市民協働推進室から分割する				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
	目	コミュニティ費	根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則				
事業		コミセン施設整備事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
施策分野		2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進						
個別計画		生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	14中学校区コミセン(16施設)	
	意図（どういう状態にしたいのか）	生涯学習活動の拠点施設として十分機能するよう、老朽化対応や耐震化など安全面や機能向上を目指し、施設・設備を整備する。	

事業内容	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンの施設・設備を整備し、機能充実と安全面の向上を図っていく。 平成24年度においては、二見コミセントイレ改修工事、高丘中央集会所高圧受変電装置更新を行う。 (コミセン利用件数(延べ)) 平成22年度 30,954件 平成23年度 29,484件 平成24年度見込み 30,000件 (コミセン利用人数(延べ)) 平成22年度 521,974人 平成23年度 493,364人 平成24年度見込み 507,000人	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
22決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.80	0	0.00
23決算	0	0	0	0	0	0	0	0	6.00	0	10.00
24当初予算	46,514		46,514	0	34,500	0	12,014	0	0.10	0	16.90

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
				24年度当初予算事業費明細	需用費	修繕料、消耗品費等	2,130
					役務費	コミセン事務室の仮移設に伴う引越し費用等	704
					使用料及び賃借料	コミセン耐震工事による仮設事務所賃借料	6,300
					工事請負費	二見コミセントイレ改修工事等	34,500
					備品購入費	空調機更新等	2,580
					負担金補助及び交付金	高丘中央集会所工事負担金	300
合計		0		合計		46,514	

整理番号	0130101000-002	事務事業名	コミセン施設整備事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	耐震診断、耐震改修した建物数の割合	昭和56年以前に建築されたコミセンで耐震診断、耐震改修したコミセン施設数を安全面の向上と図った成果指標とする。	完了施設数/対象施設数	3/5	4/5	4/5
	<p style="text-align: center;">指標で表せない成果</p> コミセン利用者に最も求められているものは、安全で快適に施設を利用できることであり、安全面の向上と機能充実を図ることで、利用者の満足度は向上している。					
事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明			
	必要性	高い	生涯学習活動に重点を置いた拠点施設として位置付けており、安全で快適に施設を利用できるように、コミセンの施設・設備を整備する意義は大きい。			
	有効性	やや高い	コミセン施設は生涯学習活動の拠点施設であるとともに、災害など非常時には地域における避難施設としての役割も果たすことから、コミセンの施設、設備を整備する意義は認められる。			
	効率性	やや高い	全体的にコミセンの施設、設備の老朽化が進んでいることから、地域の意見を聞きながら優先順位を付けて、必要最低限の施設整備に努めている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	本事業は必要性は高く、有効性もやや高い事業であり、現在の規模を維持していく。			
	手法の改善	維持	コミセンの施設、設備を整備することについては、事業費の増加が見込まれることから、計画的に実施できるよう検討する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
生涯学習活動の拠点施設であるコミセン施設・設備の機能充実を図るため、引き続き耐震補強や改修工事を実施していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習センター運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 003	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5600			
	目	生涯学習センター費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	事業	生涯学習センター運営事業	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-5 生涯学習の推進						
個別計画	生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センター（男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム・子ども図書館除く）					
	意図（どういう状態にしたいのか）	多くの市民が生涯学習に取り組み、市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、使いやすい貸し館運営を行い、提供するサービスを充実させる。					

事業内容	<平成22年度>						
	学習センター貸し館運営 ・学習室1(120人)、2(81人)、3(45人)、4(12人)、パソコン室(25人)、調理実習室(25人)、工芸室(25人)、茶室和室(29人)、ホール(293人)の貸し館を行った。件数 6,783件、平均利用率 69.5%、利用者数 102,191人 ・利用拡大を図るため、使用料の一部値下げ(ホール、和室、音楽練習室2)や直前割引使用料の設定のほか、新たにリハ・サスタジオの新規貸出を行った。また、ホールのネーミングを募集(「子午線ホール」に決定)し、更なるPRに努めた。 ・調理実習室にパンこね器や発酵器を新たに設置したほか、携帯用補聴器誘導システムを導入するなど利用者のサービス向上を図った。 学習情報の提供 ・学習情報誌「わらしのわ」を発行した(年4回、5000部)。 ・生涯学習センターホームページにて貸し館の状況や企画事業の情報提供を行った。 ・学習情報コーナーにて、書籍・DVD・インターネットの閲覧サービスを行った。 生涯学習センター運営委員会 ・生涯学習センターの運営について広く意見を求めるため、運営委員会を3回開催した。						
	<平成23年度> 下記変更以外は平成22年度とほぼ同じ						
	学習センター貸し館運営 ・貸ロッカーを設置しセンター利用者のサービス向上を図った。 生涯学習センター運営委員会 ・明石市生涯学習推進プランの進捗状況について意見を求めるため運営委員会を2回開催予定。 センターHPリニューアル ・市民が学習活動を行う場や学習機会の情報をより効果的に提供するためセンターHPのリニューアルを検討する。						
<平成24年度>							
学習センター貸し館運営 センターHPリニューアル ・学習情報の充実や利用者が知りたい情報をすぐに引き出せるよう検索性や操作性の向上を図り、誰もが見やすく使い易いHPの再構築を行う。 インターネット施設予約システムの導入検討 ・庁内関係課と検討を行う。							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1.60	アルバイト	0.00
22決算	15,437	24,650	40,087	0	0	24,518	15,569	正規	1.60	アルバイト	0.00
23決算	14,120	25,770	39,890	0	0	16,468	23,422	再任用	0.00	その他	1.30
24当初予算	16,710	24,390	41,100	0	0	13,230	27,870	任期付	3.60	合計	6.50

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	生涯学習運営委員会謝礼(2回開催分)	237	報償費	生涯学習運営委員会謝礼	385
需用費	消耗品費(事務用品等)・舞台用電球・学習情報誌・パンフレット等	3,069	需用費	消耗品費(事務用品等)・舞台用電球・学習情報誌・パンフレット	3,179
役務費	ピアノ調律代・学習室5インターネット回線費	191	役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代・学習室5インターネット回線費	716
委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール調光保守	5,964	委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール調光保守 ホームページリニューアルシステム開発委託料	9,255
使用料及び賃借料	パソコン室機器賃貸借・公用車駐車場借り上げ料	3,668	使用料及び賃借料	パソコン室機器賃貸借・公用車駐車場借り上げ料	2,317
その他	旅費・備品購入費	991	その他	旅費・備品購入費等	858
合計		14,120	合計		16,710

整理番号	0130101000-003	事務事業名	生涯学習センター運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	49.1	53.5	57
	利用者数	貸し館の年間利用者数	人	102191	109,996	117,000
	指標で表せない成果 センターの利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターは、本市における生涯学習振興の中心的な役割を担っており、市が主体となって運営する必要がある。 市民ニーズが多様化し生涯学習の機会提供等の充実が求められている中、市民の生涯学習活動をより一層支援するため拠点施設である生涯学習センターの機能強化を図る必要がある。 			
	有効性	やや高い	平成22年4月の料金改定(ホール、和室、音楽練習室の使用料値下げ等)を機に、平成22年度は対前年度比で利用件数が約20%の増加となり、平成23年度においても増加傾向となっている。			
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> ホールの舞台操作業務など多くの業務で競争入札を行うなど経費削減に努めている。 条例等に定める使用料の徴収により、適切な利用者負担が行われている。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	市の生涯学習振興の観点から直営で事業を行う必要がある。また、平成22年4月に施設使用料の値下げ等貸し館利用のサービス向上を図った結果、平成23年度末時点において、対前年度比で利用者数、稼働率とも増加傾向となっており、現在の事業規模を維持し更なる利用促進を目指す。			
	手法の改善	維持	事務事業の見直しや競争入札による業務委託を実施するなど、より一層の効率化を図っている。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
<ul style="list-style-type: none"> センターHPの内容を充実させ、より効果的な情報提供を行うとともに、利用者の意見等を踏まえサービス向上に努め、センターの更なる利用促進を図る。 利用者の更なる利便性向上を図るため、市公共施設における全庁横断的なインターネット施設予約システムについて、関係各課と導入に向けた検討を進める 						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		分室運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 004	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
事業		生涯学習センター運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
施策分野		2 教育・文化分野					
		2-5 生涯学習の推進					
個別計画		生涯学習ビジョン					

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センター分室
	意図（どういう状態にしたいのか）	分室において多くの市民が生涯学習に取り組み市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、施設設備の状態を良好に保ち、使いやすい貸し館運営を行う。

事業内容	<平成22年度>	貸し館運営 ・大会議室(250人)、和室(50人)、実習室(30人)、研修室(35人)、視聴覚室(35人)、小会議室(20人)の貸し館運営を行った。 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供するなどの学習支援を行った。 、を合わせた利用件数等 延件数2,957件、延人数51,262人
	<平成23年度>	貸し館運営 学習活動の支援 、を合わせた利用件数等 延件数3,525件、延人数53,850人 修繕 ・机3台入替え ・大会議室音響機器(マイク、CDデッキ)修理
	<平成24年度>	貸し館運営 学習活動の支援

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	940	6,950	7,890	0	0	395	7,495	0.40	0.00	0.00
23決算	1,034	25,000	26,034	0	0	1,364	24,670	0.00	0.00	5.00
24当初予算	1,172	24,045	25,217	0	0	1,172	24,045	0.00	0.00	5.40

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品(事務用品等)・ 視聴覚室カーペット張替え修理	784	24年度当初予算事業費明細	需用費	消耗品(事務用品等)・ 視聴覚室遮音壁取替修理一式	729
役務費	電信電話料・ピアノ調律代	147		役務費	電信電話料・ピアノ調律代	187
使用料及び賃借料	コピー使用料	53		使用料及び賃借料	コピー使用料	118
備品購入費	掃除機・会議室机・キャビネット	50		備品購入費	会議室机	138
合計		1,034		合計		1,172

整理番号	0130101000-004	事務事業名	分室運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	利用者数	年間利用者数	人	51262	53,850	54,000
	指標で表せない成果					
	分室の利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がり醸成に貢献している。					
事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター分室は、本市における生涯学習振興の役割を担っており、市が主体となって運営する必要がある。 社会経済情勢の変化に伴い、市民ニーズも多様化し生涯学習の機会提供等の充実が求められている中、市民の生涯学習活動を支援するため、分室の存続は必要である。 			
	有効性	やや高い	分室については、登録サークルの利用が大半であり、利用料金の収入増は見込めないものの、活発なサークル活動が展開されており、有効利用されている。			
	効率性	やや高い	分室は、臨時事務員(5名のローテ体制)のみで業務を行っており、必要最小限のコストで運営している。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	市が主体となって運営する必要性が高いとともに、登録サークルによる活発な活動が行われていることから、現状どおりの規模で継続して行く必要がある。			
	手法の改善	維持	施設の老朽化が進む中においても、必要最小限の修繕で対応していることから、事業費削減の余地は少ない。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
<ul style="list-style-type: none"> 分室の管理・運営について、利用者等の意見を十分反映しながら生涯学習支援の充実に努める。 市立図書館移転に伴う、跡地利用の協議の中で、分室を拠点とするシニアカレッジ等の活動場所拡充について関係課と調整を図る。 						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		フロアコンサート	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 005	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度	
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同条例施行規則			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-5 生涯学習の推進						
個別計画	生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	<対象（誰を・何を）> (1)市民等 (2)生涯学習センター					
	意図（どういう状態にしたいのか）	<意図（どういう状態にしたいのか）> (1)多くの市民に良質な音楽を聴く機会を提供する。 (2)定期的にフロアコンサートを開催することにより、生涯学習センターの認知度を上げる。					

事業内容	主に明石にゆかりがあるプロの演奏家によるミニコンサート「ときのまちの小さな音楽会」を月1回、生涯学習センターのフロア(子ども図書館)、またはホールで開催する。						
	<平成22年度> 年間11回開催 観客:延べ1355名						
	<平成23年度> 年間12回開催予定(年1回ホールで開催) 観客:延べ1728名						
	<平成24年度予定> 年間12回開催予定(年1回ホールで開催) 観客:延べ1800名(見込)						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	665	6,720	7,385	0	0	0	7,385	0.60	0.00	0.00
23決算	808	6,380	7,188	0	0	0	7,188	0.20	0.00	0.00
24当初予算	889	6,030	6,919	0	0	0	6,919	0.10	0.90	0.90

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	出演者謝礼		650		報償費
	需用費	ホール舞台用花・消耗品・飲料水等	5		需用費	ホール舞台用花・消耗品・飲料水等	25
	役務費	グランドピアノ調律代・舞台操作人件費	118		役務費	グランドピアノ調律代・舞台操作人件費	138
	使用料及び賃借料	音楽著作権演奏使用料	35		使用料及び賃借料	音楽著作権演奏使用料	26
	合計		808		合計		889

整理番号	0130101000-005	事務事業名	フロアコンサート			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	観客数	各回観客数の合計	人	1355	1,728	1,800
	指標で表せない成果					
	生涯学習センターの認知度アップ。明石ゆかりの音楽家のPR。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや高い	「多くの市民に良質な音楽を聴く機会を提供する」ことは、大きな意味では「生涯学習の振興」に繋がる。また、施設の認知度を上げるという目的は施設の利用率アップにも繋がるため、妥当であると思われる。			
	有効性	やや高い	月1回無料で音楽を楽しむことができるイベントとして定着し、生涯学習センターの認知度も上がった点は評価できる。			
	効率性	やや高い	生涯学習センターのフロアを使い身近に良質な音楽が聴けるコンサートを開催するところに意義があるが、年1回は、子午線ホールのPRのため、また、より多くの市民に音楽鑑賞の機会を提供するためにホールで開催している。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	年間12回開催の事業規模を維持する。			
	手法の改善	維持	年11回を子ども図書館で、年1回をホールで開催する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな明石ゆかりの音楽家の発掘し、音楽のジャンルを広げる。 ・生涯学習センターの認知度アップのため、ホームページなどでのフロアコンサートのPRを強化する。 						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		視聴覚ライブラリー運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 006	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
事業		生涯学習センター運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進	個別計画		生涯学習ビジョン			

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センターが保有する視聴覚教材、機材
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の多様な学習需要に応えるため、視聴覚教材を充実させ、機材を整備し、利用しやすい環境をつくる。

事業内容	<平成22年度>	教材、機材の貸し出し ・幼稚園や子ども会、自治会などに16ミリフィルムやビデオ教材、及びプロジェクターやスクリーンなど機材の貸し出しを行った。 年間貸し出し件数 教材97件(学校:44件、その他:53件)、機材43件(学校:7件、その他:36件) ・教材の新規購入（ビデオ 2本・DVD 35本を購入）
	<平成23年度>	教材、機材の貸し出し ・教材91件(学校:46件、その他45件)、機材45件(学校:19件、その他:26件) ・教材の新規購入(ビデオ 1本・DVD 9本を購入)
	<平成24年度>	教材、機材の貸し出し及び教材の新規購入

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	1,079	419	1,498	0	0	0	1,498	0.10	0.00	0.00
23決算	522	1,259	1,781	0	0	0	1,781	0.00	0.00	0.20
24当初予算	822	980	1,802	0	0	0	1,802	0.00	0.00	0.30

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費(ビデオ教材購入費等)・視聴覚機材補修	520	2	需用費	消耗品費(ビデオ教材購入費等)・視聴覚機材補修	814
役務費	教材搬送用袋クリーニング	2	2	役務費	教材搬送用袋クリーニング	8
合計		522		合計		822

整理番号	0130101000-006	事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	貸出件数	教材(DVD、ビデオ等)の年間貸出件数	件	97	91	100
	指標で表せない成果					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	やや低い	教材等の貸出は、視聴覚学習の普及振興に寄与するものではあるが、現状、利用が低迷している。			
	有効性	やや低い	利用層が固定化されており、貸出件数も伸び悩みの状況にある。			
	効率性	やや低い	利用が低迷しているものの、教材購入費等相当の経費を要しており、費用対効果の観点からも見直しが必要である。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	縮小	利用率の伸び悩みや映写機等の老朽化が進む中、維持管理コストと比較して必要性や有効性が低い事業であり、縮小を検討する必要がある。			
	手法の改善	抜本的改善	利用層が固定化されており、利用も伸び悩みの状況にあることから、事業のあり方を検討する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
今後の事業展開方針						
教材等の貸出は、市内の学校がその大半を占めており、購入教材の選定は教育研究所に依頼している状況にある。今後の方向性としては、新規購入経費の縮小若しくは、事業の教育委員会への移管など、事業の在り方を検討する。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		生涯学習センター維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 007	
				分割/統合				
				事業の分割/統合の内容				
関連予算科目目	会計	一般会計		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	款	総務費		連絡先	(078)918-5600			
	項	総務管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	目	生涯学習センター費		根拠法令・要綱等	生涯学習センター条例、同施行規則			
事業	生涯学習センター維持管理事業		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
施策分野	2 教育・文化分野							
	2-5 生涯学習の推進							
個別計画	生涯学習ビジョン							

事業の目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センターの施設・設備（アスピア明石北館の7階～10階部分、6209㎡。男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム：子ども図書館含む）	
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民がセンターを安全・快適に利用できるよう、また、職員が効率的に執務できるよう、センターの施設・設備の状態を良好に保つ。	

事業内容	<平成22年度>	保守・点検 ・中央監視盤、AVシステム、空調装置について、年1回の保守点検を実施した。 ・給水式冷温機（冷房）について、年2回の保守点検を実施した。 ・電話交換機、エアコン空調機について、月1回の保守点検を実施した。 修理・修繕 ・視覚障害者用館内案内表示盤修繕、学習室5プロジェクター修繕、ネオンサイン看板改修、PAC空調機器修繕等24件。 インフラ設備維持 ・電気・ガス・水道・館内インフラ回線・電話回線の供給を行った。 ・建物（アスピア）共用部分等の維持管理費を負担した。 清掃・・・年1回の定期清掃と302日の日常清掃を行った。 警備・・・開館日302日の夜間（16:30～22:30）の見回り警備と利用者案内を行った。 深夜（22:00～8:00）及び休館日の機械警備を行った。	
	<平成23年度>	下記変更以外は平成22年度とほぼ同じ。 修理・修繕 ・集合案内盤修繕、舞台照明設備電源交換、空調インバーター圧縮機交換等作業、誘導灯更新工事、北館屋上設備機器箱体補修工事他25件	
	<平成24年度>	下記変更以外は例年とほぼ同じ。 修理・修繕 ・空調室外機ファンモーター取替、冷却塔整備工事、誘導灯更新工事（2期）。	

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				24年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
22決算	76,883	11,650	88,533	0	0	244	88,289	正規	1.00	アルバイト	0.00
23決算	78,691	11,050	89,741	0	0	8,191	81,550	再任用	0.00	その他	0.50
24当初予算	84,560	9,400	93,960	0	0	10,756	83,204	任期付	0.00	合計	1.50

区分（節）	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
需用費	消耗品等（管球等）・施設設備修繕・ガス料金	5,371		需用費	消耗品等（管球等）・施設設備修繕・ガス料金	6,443
役務費	冷却塔水質検査費	71		役務費	冷却塔水質検査費	142
委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	18,677		委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	18,804
使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,587		使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,606
備品購入費	施設維持管理用備品一式・貸館用監視カメラ更新	547		備品購入費	施設維持管理用備品一式・貸館用監視カメラ更新	200
負担金補助及び交付金	アスピア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	52,438		負担金補助及び交付金	アスピア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	57,365
合計		78,691		合計		84,560

整理番号	0130101000-007	事務事業名	生涯学習センター維持管理事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	修繕件数	施設設備を安全・快適に供用するため年間修繕件数を指標とする。	件	24	25	25
	事故件数	設備の不具合による年間事故件数	件	0	0	0
	指標で表せない成果 維持管理業務の一部を委託化することにより、業務の効率化(コストや職員の負担軽減)が図られている。					
事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターは、市の生涯学習推進の拠点施設であり、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。 生涯学習センターを運営するうえで、施設設備を安全・快適に利用できるよう維持管理することは不可欠である。 			
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備を安全・快適に供用するため、経年劣化による設備の維持管理を適切に実施する必要がある。 設備の維持管理について、専門性が求められる業務については委託化を図るなど適正な維持管理に努めている。 設備の不具合等による事故等を未然に防止している。 			
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業に要する経費の約6割は、区分所有者として負担義務を負う管理組合費(「アスピア明石」の全体共用部のメンテナンス経費)であり、コスト削減の余地は少ない。 設備の保守点検業務等については、一部を除き競争入札により業者委託しており、効率的に行われている。 今後、施設(H13完成)が老朽化するにつれ、維持管理経費の増加が見込まれる。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	<ul style="list-style-type: none"> 必要性、有効性とも高く、設備の維持管理という業務の性格から概ね現状どおりの規模で継続して行う必要がある。 平成13年の竣工から10年を経過しており、今後、設備の老朽化による維持管理経費の増加が見込まれる。 			
	手法の改善	維持	事業経費の約6割を管理組合費が占めており、更なるコスト削減の余地は少ない状況にある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
平成13年の竣工以来10年が経過していることから、経年劣化による利用環境の水準を低下させることなく、利用者への安全・快適な施設供用を維持していく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 008	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5600			
	目	生涯学習センター費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	事業	生涯学習推進事業	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-5 生涯学習の推進						
個別計画	生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民がいつでも、どこでも、多種多様な生涯学習に取り組むことができる。

事業内容	<平成22年度>	講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) あかし楽講座(歴史講座等)、ゆうゆう塾(市民企画講座)、パソコン講座(民間企業に委託)、市民セミナー(現代的課題を取り上げた講演会)、スキルアップ社会人交流セミナー、ジュニアアカデミー、レコーディング講座・舞台制作講座、シニアカレッジ、コミセン高齢者大学などを実施。総受講者数8518名 生涯学習相談…窓口、電話で市民に生涯学習情報を提供。年間相談件数84件。 生涯学習指導者の育成 ・生涯学習指導者会の研修を実施(年2回) ・生涯学習指導者会の作品展を開催。 生涯学習推進プランを策定…平成23年3月に策定
	<平成23年度>	下記変更以外は、平成22年度とほぼ同じ 講座・イベント等の実施 ・スキルアップ社会人交流セミナーを拡充…他市町村との交流事業等で内容を充実 ・生涯学習推進プランに設定する重点事業を実施
	<平成24年度予定>	下記変更以外は、平成23年度とほぼ同じ 講座・イベント等の実施 ・事業の見直しによる部分的な縮小 生涯学習指導者の育成 ・明石生涯学習指導者会の見直し コミセンサークル活動への支援 ・明石コミセンサークル連絡協議会の活動支援

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	20,287	43,899	64,186	0	0	0	64,186	3.40	7.90	0.00
23決算	19,597	40,829	60,426	0	0	0	60,426	3.80	0.00	0.00
24当初予算	15,471	43,620	59,091	705	0	677	57,709	0.70	7.90	7.90

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	915	24	需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	726
役務費	舞台人件費・保険料	385	24	役務費	舞台人件費・保険料	341
委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	13,337	24	委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,298
使用料及び賃借料	バス借上料・会場使用料	756	24	使用料及び賃借料	バス借上料・会場使用料	770
その他	プロジェクト購入 研修参加負担金	125	24	その他	ノートパソコン購入 研修参加負担金	116
合計		19,597		合計		15,471

整理番号	0130101000-008	事務事業名	生涯学習推進事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	講座受講者数等	講座の受講者数、講演会の参加者数等を集計	人	8518	8,300	7,791
	指標で表せない成果 市民企画型講座ゆうゆう塾は、市民が自分の特技・技能・知識を活かして何かをはじめめるきっかけになるとともに、生涯学習を始める機会を提供している。また、シニアカレッジで学んだ市民が、コミセンで「出前講座」を行うなど、個々の学びを広げる活動を行っている。					
事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明			
	必要性	高い	・第5次長期総合計画に定める「ひと」に焦点を当てたまちづくりを進めるためには、すべての世代に向けた生涯にわたる学びへの支援が不可欠であり、市が主体となって実施する必要性は認められる。 ・生涯学習の振興にかかわる施策の企画立案は本来市が行うべき業務である。			
	有効性	高い	・ライフステージを意識した多彩な学習機会の提供が行われており、多くの市民が講座・イベントに参加している。 ・学習事業を通じ、市民同士の交流や、行政と市民・NPO・大学などとの参画と協働が進むことの意義は大きい。 ・地域の発展や、文化芸術の振興に結び付く学習事業が実施されていることの意義は大きい。 ・現在、こどもや若い社会人向けの事業展開も進めており一定の成果をあげているが、もっと若い世代にも役立つ事業を増やし、バランスの良い事業展開を図る必要がある。			
	効率性	高い	・コミュニティーセンターにおける事業は、その地域（コミセン運営委員会）に事業委託し、また市民が自ら企画し実施する講座や、学識経験者からなるボランティアグループが企画する講座など、地域や市民が協力して事業の実施にあたっており、効率的な手法による事業実施を行っている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明			
	事業の規模	拡充	事業のあり方をあらためて検討した上で、新たな方向性により拡充する。			
	手法の改善	軽微な改善	・教室・講座、イベント、講師などの生涯学習情報の発信方法を改善する。 ・中学校区コミセンでの生涯学習について、地域の独自性を考えながらアドバイスを行う。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針 ・明石市における生涯学習振興の基本理念・基本方針を示す「明石市生涯学習ビジョン」に基づいて策定した「明石市生涯学習推進プラン」に定める重点施策を実施して行くとともに、時代に応じた市民の学習ニーズに合致したものがどうかを常に検証しながら事業内容を見直す。 ・中学校区コミセン、あかねが丘学園も含めて、生涯学習施策の総合的推進を進める。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		あかねが丘学園運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 001	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5415			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	目	あかねが丘学園費	根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則			
	事業	あかねが丘学園運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
施策分野		2 教育・文化分野	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
		2-5 生涯学習の推進					
個別計画		生涯学習ビジョン					

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市在住の60歳以上の人
	意図（どういう状態にしたいのか）	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。

事業内容	<p>あかねが丘学園は、3年間の系統立てた学習プログラムをもとに、午前は共通講座、午後は専攻コースに分かれて学習を行い、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につける。</p> <p>[平成22年度]</p> <p>本校 コース: 景観園芸・生活ふくし・ふるさとコミュニティ・音楽交流・健康スポーツ交流(各学年定員165人)</p> <p>学生数: 315人(1学年119人、2学年101人、3学年95人)</p> <p>学習日: 月曜 クラブ活動、火曜 地域活動支援、水曜 3学年、木曜 2学年、金曜 1学年</p> <p>地域活動支援日は、卒業生と在校生の地域活動を支援するための学習日で、公開講座、各種講習・講座などの実施と地域活動グループへの施設設備の開放と、相談・助言を行なっている。</p> <p>・その他、学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。</p> <p>学習スケジュール: 授業は週1回、年間35日程度、午前: 共通講座(学年全体で受講)、午後: 専攻コース(各専攻コースで受講)</p> <p>主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2～3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>地域活動グループ数: 82、地域活動実施回数: 1466回</p> <p>[平成23年度]</p> <p>・事業内容は、平成22年度と同様に実施した。</p> <p>学生数: 310人(1学年123人、2学年93人、3学年94人)</p> <p>[平成24年度]</p> <p>・事業内容は、平成22・23年度と同様に実施する。</p> <p>学生数: 283人(1学年89人、2学年109人、3学年85人)</p>
------	---

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	22,101	10,070	32,171	0	0	5,166	27,005	1.00	0.00	0.00
23決算	22,580	6,160	28,740	0	0	5,070	23,670	再任用	0.20	0.10
24当初予算	23,210	10,650	33,860	0	0	5,500	28,360	任期付	0.50	合計 1.80

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,371		需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,374
役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	137		役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	247
委託料	社会教育コーディネーター委託料	10,160		委託料	社会教育コーディネーター委託料	10,210
備品購入費	共通講座室テーブル、パソコン、プロジェクター等購入	729		備品購入費	共通講座室テーブル購入	210
その他		536		その他		805
合計		22,580		合計		23,210

整理番号	0130102000-001	事務事業名	あかねが丘学園運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	119	122	89
	ボランティア実施状況	あかねが丘学園のボランティアグループのボランティア実施回数(西分校を含む)	回数	1466	1,001	1,200
	<p style="text-align: center;">指標で表せない成果</p> ボランティア活動の活動先は、高齢者施設、保育所、幼稚園、放課後児童クラブをはじめ市主催のイベント等多彩である。					
事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に、より一層充実した学習の機会を提供し、有為な人材活用とその社会参加・社会貢献を図るため市の事業として重要である。 ・明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業をすすめていくことは、高齢化社会への対応のため重要なことである。 			
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後、在学中からのグループで地域活動を本格的に実践するなど成果をあげている。 ・平成22年度 ボランティア登録者数:1258人、グループ数:82、実施延べ人数:8866人 ・平成23年度 ボランティア登録者数:1200人、グループ数:79、実施延べ人数:6094人 			
	効率性	高い	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター業務は、委託をすることにより、コスト削減と効率化が図られている。 ・現在の3年間の段階的共通講座・専攻コースによる学習は、社会情勢の変化、時代のニーズに即応できる体制をとっている。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	<ul style="list-style-type: none"> ・あかねが丘学園は、多彩な講師陣や多様なカリキュラムなど事業の目的に沿った市民のニーズに応える運営をしている。 ・卒業生、在校生による地域活動・ボランティア活動も盛んである。 			
	手法の改善	軽微な改善	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数は、定員に満たないため学生の募集については、学園情報の継続的な発信や公開講座・オープンキャンパスの開催など積極的なPRを展開していく。 ・高齢者のニーズを反映したカリキュラムの改善や、新しい魅力ある講座の調査研究を行う。 			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、カリキュラムの見直し等、事業の目的に沿った市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。 ・卒業生、在校生による地域活動・ボランティア活動へのバックアップも充実させていく。 ・積極的に行っている広報活動を継続発展させていく。 						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 002	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5415			
	目	あかねが丘学園費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	事業	あかねが丘学園維持管理事業	根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則			
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-5 生涯学習の推進						
個別計画	生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象（誰を・何を）	あかねが丘学園の施設、設備
	意図（どういう状態にしたいのか）	・学園の運営を円滑に行ない、学生が学習等で学園を快適に使用できるように維持管理する。 ・市民が学園を安全・快適に利用できるよう、また職員が効果的に執務できるよう学園施設・設備の状態を良好に保つ。

事業内容	施設・設備の保守・点検・修理 電気・水道・ガス施設点検、樹木剪定 清掃 年1回の定期清掃、屋外清掃委託 警備 機械警備委託

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	9,204	9,690	18,894	0	0	0	18,894	0.60	0.00	0.00
23決算	9,576	6,780	16,356	0	0	0	16,356	0.10	0.90	0.90
24当初予算	10,865	8,590	19,455	0	0	0	19,455	0.30	1.90	1.90

23年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	施設設備補修費、光熱水費(電気料金、ガス料金、水道料金)	7,436		需用費	施設設備補修費、光熱水費(電気料金、ガス料金、水道料金)	8,600
役務費	簡易専用水道検査手数料	16	役務費	簡易専用水道検査手数料	18		
委託料	設備関係保守点検費用	2,124	委託料	設備関係保守点検費用	2,235		
負担金補助及び交付金		0	負担金補助及び交付金	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	12		
合計			9,576	合計			10,865

整理番号	0130102000-002	事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
<p>・日常及び定期など計画的な点検等で不具合が見つかった場合や修繕箇所が発生した場合、できるだけ速やかに対応するようにしている。</p>						
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	<p>・あかねが丘学園は明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業を実施している施設で、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。</p> <p>・学園を運営する上で、施設・設備を快適に使用できるよう維持管理することは不可欠である。</p>			
	有効性	高い	<p>・施設の老朽化は否めないが、施設・設備を適宜補修しているので概ね良好に維持されている。</p> <p>・学園の施設は朝霧コミセンや地域交流センターとしても利用されていて多くの市民に有効に利用されている。</p>			
	効率性	高い	<p>・日常の清掃(教室、廊下、剪定、草刈、グラウンド整備など)は学生が実施するなど経費の節減に努めている。</p>			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	<p>・学園の施設・設備の維持管理は、学園の運営に必要不可欠なものである。</p>			
	手法の改善	維持	<p>・安全対策を重視したうえで、施設・設備の維持管理を行う。</p>			
	<p>事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止</p> <p style="text-align: center;">今後の事業展開方針</p> <p>・今後も施設・設備の補修については、不具合箇所の早期発見・早期補修が経費の削減につながるので迅速な対応に努める。</p> <p>・将来の学園運営には、施設の老朽化による大規模改修が不可欠であるが、なかでも避難所でもある朝霧コミセンのある体育館など施設全体の耐震化を検討していく必要がある。</p>					

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		あかねが丘学園西分校運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130102000 - 003		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園				
	款	総務費	連絡先	(078)918-5415				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度		
	目	あかねが丘学園費	根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
	2-5 生涯学習の推進							
個別計画	生涯学習ビジョン							

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市在住の60歳以上の人					
	意図（どういう状態にしたいのか）	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。					

事業内容	あかねが丘学園西分校は、2年間の系統立てた学習プログラムをもとに、午前は共通講座、午後は専攻コースに分かれて学習を行い、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につける。 【平成22年度】 分校 コース：健康科学・陶芸文化(各学年定員51人) 学生数：85人(1学年40人、2学年45人) 学習日：火曜 1学年、金曜 2学年 学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。 学習スケジュール：授業は週1回、年間35日程度、午前：共通講座(学年全体で受講)、午後：専攻コース(各専攻コースで受講) 主な年間スケジュール：4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2～3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式 【平成23年度】 ・事業内容は、平成22年度と同様に実施した。 学生数：66人(1学年32人、2学年34人) 【平成24年度】 ・事業内容は、平成22・23年度と同様に実施する。 学生数：71人(1学年43人、2学年28人)						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
22決算	14,924	4,990	19,914	0	0	1,275	18,639	0.40	0.00	0.00
23決算	14,598	4,260	18,858	0	0	990	17,868	0.70	0.00	0.00
24当初予算	16,370	6,260	22,630	0	0	1,200	21,430	0.20	1.30	0.00

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	市内出張旅費	105		旅費	市内出張旅費	106
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	478		需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	1,180
役務費	通信運搬費	65		役務費	通信運搬費	120
委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター	3,688		委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター	3,750
使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	6,886		使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	7,202
合計		14,598		合計		16,370

整理番号	0130102000-003	事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	40	32	43
	指標で表せない成果					
	<ul style="list-style-type: none"> ・本校が市東部にあるため、西部地区の市民ニーズに対応している。 ・地域により密着したボランティア活動を展開している。 					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習意欲の高い高齢者に対して、より一層充実した学習の機会を提供することにより、有為な人材の活用とその社会参加・社会貢献を図るため市の事業として重要である。 ・明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業をすすめていくことは、高齢化社会への対応のため重要なことである。 			
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> ・二見・魚住地区の入学者が多く、地元の多くの高齢者に喜ばれている。 ・平成21年度の開校以来、円滑に実施されている。 			
	効率性	高い	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎を持たないで運営しているので固定経費が非常に低く抑えられている。 ・西分校は2年制2コース(健康科学コース、陶芸文化コース)のコンパクトな学習課程に似合う成果をあげている。 			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	<ul style="list-style-type: none"> ・あかねが丘学園本校と同様、多彩な講師陣や多様なカリキュラムなど事業の目的に沿った運営をしている。 			
	手法の改善	軽微な改善	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数は、定員に満たないため学生の募集については、学園情報の継続的な発信や公開講座・オープンキャンパスの開催など積極的なPRを展開していく。 ・高齢者のニーズを反映したカリキュラムの改善や、新しい魅力ある講座の調査研究を行う。 			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、カリキュラムの見直し等、事業の目的に沿った市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。 ・卒業生、在校生による地域活動・ボランティア活動へのバックアップも充実させていく。 ・積極的に行っている広報活動を継続発展させていく。 						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。